

第七十四回帝國議會 衆議院 酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月八日(水曜日)午後一時三十分分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 万逸君

理事池田 清秋君 理事深澤 吉平君

理事藤生安太郎君 理事鹽川 正藏君

坂下仙一郎君 篠原 陸朗君

河野 一郎君 小笠原八十美君

松尾 孝之君 北 勝太郎君

小田 榮君 野溝 勝君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 林 讓治君

農林省畜産局長 岸 良一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林書記官 柴野和喜夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ開會致シマス——鹽川君

○鹽川委員 最初ニ酪農業調整法ト云フ法律案ノ名稱ニ付テ御尋デアリマス、是ハ名稱デアリマスルカラドウ云フ名前ヲ付ケテモ宜シイヤウナモノデアリマスルガ、併シ成

ベク法律ノ名稱ニ依ツテ大體其ノ内容ヲ察知スルコトガ、出來ルヤウナ名前ヲ付ケルコトガ適當デアラウト思フノデアリマス、此ノ酪農業ト云フヤウナ名稱ハ是ハ地方ニ於テモ畜産界ノ方面ニ於テハ大分使用サレテ居ルヤウデアリマスルガ、併シ國民一般カラ見マスルト酪農業ト云フノハ洵ニ耳新シク聞エル名前ノヤウニ思フノデアリマス、一體酪農業ト申シマスレバ土地ヲ耕作スルト云フ事柄ガ酪農業ノ根本ノ觀念ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、今牛乳ヲ生産スル畜牛ニ付テ考ヘマスレバ、是ハ農家ノ副業トシテ行ハレテ居ルノガ多イヤウデアリマス、即チ農家ノ副業デアリマスルケレドモ、併シ酪農業ト云フコトハドウモ私ハ縁ガ遠イヤウニ思フノデアリマス、殊ニ又此ノ法律案ニ於テハ製酪業ト云フヤウナ文字モ使ツテ居リマスルガ、ドウモ農林方面カラ考ヘテ見ルト常非ニ難カシイヤウニ思フノデアリマス、一體畜産方面ニ於テハ酪農業ト云フヤウナ、學問系統ニ於テサウ云フ風ナ一ツノ系統ガ認めラレテ居ルノデアリマスカドウカ、其ノ邊ノコトヲ先ニ御伺シタイト思フノデアリマス

○岸政府委員 此ノ法律案ノ名稱ガ酪農業ト言ツテ居ツテ、或ハ狭イ範圍ノ人ニハ分ツテ居ルカモ知レナイケレドモ、一般ノ者ニハ分ツテ居ナイデハナイカ、此ノ言葉ハ畜産方面ニ於テ認めラレテ居ルノカ、斯ウ云フ御質問ダト思ヒマスガ、此ノ言葉ハ畜産ノ方面ニ於キマシテハ、牛乳ノ生産カラ其ノ加工マデヲ意味スル言葉トシ用ヒラレテ居リマス、而モ各種ノ畜産ノ雜誌或ハ農業ノ雜誌ニモ順次ソレガ教ヘラレルヤウニナツテ居リマシテ、牛乳ノ生産及ビ其ノ利用ヲ中心トスル一ツノ土地産業ノ觀念ヲ與ヘル上ニ於テ極メテ恰好ナ言葉ト思ツテ之ヲ用ヒタノデアリマス、過日モ申上ゲマシタヤウニ農林省ハ前々カラ畜産ノ形態ヲ有畜農業ノ形態、即チ農業經營ノ一部門トシテ其ノ機構ノ中ニ織込マレルヤウニ導イテ行カウト云フ方針デ進ンデ居ルノデアリマシテ、此ノ言葉モサウ云フヤウナ意味ニアリマス

○鹽川委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、詰リ有畜農業トシテ、畜産ヲ農業ニ利用スルト云フ方面カラ、酪農ト云フ言葉ガ用ヒラレテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマス、併シ乳牛ヲ飼フコトハ農家ノ副業トシテ飼フノデアツテ、其ノ牛ヲ耕作ニ利用スルコトハ、乳牛飼養ノ本來ノ目的デハナイト思フノデアリマス、ソレ故ニ酪農業ト乳牛ヲ飼フコトトハ、自ラ別ノ觀念ニ屬スベキモノデア

ル、斯ウ考ヘルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、農家ハ副業トシテ養蠶ヲ行ツテ居リマスガ、養蠶モ廣イ意味カラ申シマスレバ、農業ト言ヘルカモ分リマセヌ、併シ養蠶農業トハ申サナイ、ヤハリ養蠶ハ養蠶デス、又兎ヲ飼フコトモ副業トシテ行ハレテ居リマスガ、是モヤハリ飽クマデ農家ノ副業デアツテ、酪農業其ノモノトハ別個ノ觀念ニ屬スルモノデアアル、斯ウ見ルノガ私ハ妥當デハナイカト考ヘルノデアリマス、シテ見レバ乳牛ヲ飼フコト、酪農業トハ別個ノ觀念ニ屬スベキモノダト考ヘルノデアリマ

スガ、サウ云フ點ニ付テハ如何デゴザイマセウカ

○岸政府委員 乳牛ノ飼育ト云フ點カラ言ヘバ、酪農業トハ別個ノ觀念ニナルノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、私共ハ農業ト云フモノヲ、廣イ意味ト狭イ意味ト二ツニ

分ケテ考ヘテ居ルノデアリマス、狭イ意味
カラ申シマスレバ、所謂日本ノ耕種ノ農業
デアリマスガ、廣イ意味カラ申シマスルト、
土地カラノ生産ヲ圖ル所謂土地産業ノ一箇
トシテハ、農業ノ經營ニハ耕種ヲ初メ、畜
産、養蠶或ハ廣ク林業ノ生産ノ一部ヲモ入
レテ考ヘテ宜イト思ツテ居ルノデアリマス、
先程申シマシタヤウナ有畜農業ノ觀念ニ於
テ之ヲ進メテ行クト申シマスノハ、乳牛ノ
飼育ナリ或ハ家兎ノ飼育ナリガ、他ノ耕種
農業ノ部面ナリ何ナリト、互ニ持チツ持タ
レツシテ、其ノ效力ヲ十分發揮シテ行ケル
ト云フ所ヲ、經營上ノ大事ナ點ト認メテ居
ルノデアリマス、即チ單ニ牛ヲ飼フト云フ
コトカラ言ヒマスレバ、牛ニ飼料ヲ食ベサ
セ、乳ヲ採ルコトガ一ツノ經濟上ノ「リン
ク」ニナルノデアリマス、同時ニ是ガ生産
物タル糞尿ヲ利用シテ、地力ヲ維持シ、農
業肥料ノ購入ヲ節約スルト云ツタ他ノ部面
トノ結合ヲ持タセルコトニ依ツテ、農業モ
有利ニナルシ、又乳牛ノ飼育其ノモノモ有
利ニナツテ來ルノデアリマス、吾々ガ有畜
農業ト考ヘテ居ルノハ其ノ點ニアルノデア
リマス、隨テ乳牛ノ經營ニ於テ、牛ヲ飼フ
コトモ、サウ云フ結ビ付キヲ考ヘテ、經營
ヲシテ行クコトガ其ノ牛ノ本來ノ能力ヲ發

揮サセルコトデアアル、即チ牛ノ力ヲ利用シ、
農業方面ニ於ケル生産ヲ別ノ形態ニ於テヤ
ツテ、ソレヲ市場ニ出シテ行クト云フコト
ヲ、廣イ意味ニ於ケル農業ノ生産トシテ考
ヘルコトガ出來ルト思ツテ居ルノデアリマ
ス
○鹽川委員 私ハ酪農ト云フ言葉ハ、一般
國民ニ取ツテ、國民ノ最モ知ラナケレバナ
ラス法案ノ名前ト致シマシテハ、非常ニ理
解シクイ言葉デアルト云フコトダケ申上
ゲテ置キマス
次ニ本案制定ノ理由ト致シマシテ、乳
製品ヲ増産致シ、其ノ乳製品ヲ海外ニ輸
出シテ、國際收支ノ改善ヲ圖ルト云フ事
柄ガ本案制定ノ一ツノ理由トナツテ居ル
ヤウデアリマス、今日ノ我國ノ現狀ニ於
テハ、何ヲ差措イテモ輸出ヲ圖ルコトガ最
モ重要ナル國策ト考ヘルノデアリマス、而
シテ此ノ乳製品ヲ増産致シマシテ、之ヲ海
外ニ輸出スルコトニ付テハ、既ニ本年ハ昨
年ヨリモモツト多量ヲ輸出スルヤウニト云
フコトヲ、製造會社等ニ對シテ御内命モア
ツタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、併シ
今日輸出スル價格ハ、其ノ製造ニ於テハ原
價ヲ切ツテ海外ニ輸出シテ居ル、即チ會社
ハ幾分ノ損失ヲシテ居ル、併シ其ノ損失ヲ

忍ンデ今日輸出ヲ圖ツテ居ルト云フ風ニ聞
イテ居ルノデアリマス、果シテサウ云フコ
トデアリマス、此ノ會社ガ輸出ヲスル爲
ニ損失ヲスルト云フコトニナレバ、結局其
ノ損失ハ之ヲ又更ニ轉嫁致シマシテ牛乳生
産者ニ其ノ損害ヲ負擔サセル、斯ウ云フ結
果ニナリハセスカト云フコトヲ惧レルノデ
アリマス、今日乳牛ヲ飼育シテ居リマス農
家ノ實際ヲ見マス、或ハ一頭飼フトカ、
或ハ二頭飼フトカ云フヤウナ、サウ云フ副
業農家ヲ見マス、或ハ子供ガ牛ニ草ヲ食
ベサセニ外ニ曳出シテ歩イテ居ルトカ、或
ハ農家ノ主婦ガ乳ヲ搾ルトカ云フ風ニシテ、
一家總掛リデ乳牛ヲ飼育スルト云フヤウナ
ノガ農家ノ今日ノ現狀デアリマス、サウ云
フ風ニシテ辛ウジテ牛ヲ飼育シテ居ルノデ
アリマスガ、サウ云フ人達ニマデ海外輸出
ノ影響ヲ受ケテ、會社ノ損失ノ幾分ヲサウ
云フ者ニマデ轉嫁サセルコトニナリマス、
是ハ洵ニ農家ノ經營上重大ナコトデアルト
思フノデアリマス、併シサウ云フコトニ付テ
農林當局ニ於テハ十分ニ御考ニナツテ居ツ
テ、左様ナコトハ致サセナイト云フ風ニ私
共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ドウカサウ云
フ譯デナイ、農家ニ對シテ其ノ損害ヲ轉嫁
スルヤウナコトハサセテ居ラナイノダト云

フ點ニ付テ、私共ノ納得ノ行クヤウナ御説
明ヲ御願シタイト思フノデアリマス、其ノ
點ニ付テ御伺フシテ置キマス
○岸政府委員 乳製品ノ輸出ヲ製酪業者ニ
サセル爲ニ、製酪業者ハ原價ヲ切ツテ輸出
ヲシナケレバナラス、隨テソコカラ起ル所
ノ損失ニ付テハ生産者ニ轉嫁サレハシナイ
カ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是等ノ點ニ
付キマシテハ、勿論十分細心ノ注意ヲ拂ツ
テ輸出ヲサセルヤウニ致シテ居ルノデアリ
マシテ、輸出ヲヤリマシタカラ現在ノ乳價
ヲソレガ爲ニ下ゲテヤルト云フヤウナコト
モナイヤウニ致シテ居リマスシ、又實際ニ
於テナイノデアリマス、輸出ニ付キマシテ
ハ——速記ヲ止メテ戴キタイ
〔速記中止〕
○鹽川委員 只今私ガ心配ヲ致シテ居リマ
シタ點ニ付テハ、畜産局長ヨリ御説明ヲ戴
キマシテ其ノ點諒承致シマシタ、何分會社
ハ大會社デアリ、又之ヲ經營スルノハ大團
體デ皆有力ナル團體デアリマスカラ、多少
ノ損害ハ國家ノ爲ニ忍ブト云フコトモ已ム
ヲ得ナイ場合モアラウト思ヒマス、併シナ
ガラ生産者タル農家ニ取リマシテハ、是ガ
一家ノ經營上重大ナル關係ヲ持ツテ居ルモ
ノデアリマスカラ、其ノ農家ノ方ニ付キマ

シテハ、尙ホ一層十分ナル御注意ヲ御願シ
タイト思フノデアリマス

ソレカラ次ニ牛乳ノ増産計畫デアリマス
ルガ、先刻來申上ゲマシタヤウニ海外ノ輸
出増加ヲ圖ルニハ、ヤハリ其ノ根本デアリ
マスル牛乳ノ増産ヲ圖ラナケレバナラス、
牛乳ノ増産ヲ圖ルニ付テハ乳牛ノ増産ヲ圖
ルト云フ事柄ハ、是ハ當然ナコトデアリマ
ス、政府ノ御計畫ヲ見マスルト、サウ云フ
點ニ付テ具體的ノ方法ガ立テラレテアルヤ
ウデアリマス、表ニ依ツテ見マスルト、第
二年ニハ六千餘、第三年ニハ一万七千、第四
年、五年ニハ各、約五千位ノ増産ヲ圖ルヤ
ウナ計畫ガ出來テ居ルヤウデアリマス、是
ハ何レモ計算ノ基礎ガアツテ、斯ウ云フ數
字ガ出タコト思フノデアリマス、此ノ乳
牛ヲ殖ヤスト云フ事柄ハ餘程困難ナコトデ
アル、殊ニ短時日ノ間ニ之ヲ増産スルト云
フコトハ非常ニ骨ノ折レルコトデアルト私
ハ思フノデアリマスガ、併シ政府ノ御計畫
ニ付テ遺漏ノタイト云フコトヲ信ジテ居ル
ノデゴザイマス、此ノ乳牛ノ増産計畫ヲド
ウ云フ順序ニ依ツテドウ云フ方法ニ依ツテ
之ヲ實行シテ行クカト云フ實行計畫ノ内容
ヲ御伺シタイト思フノデアリマス、御差支
ナイ方法デ其ノ點ヲ御説明願ヒタイト思フ

ノデアリマス

○岸政府委員 乳牛ノ増産ノ計畫實行ニ付

キマシテハ、現在居リマス牛種ノ増産率ヲ
殖ヤシテ行クコト云フコトニ、一ツノ重點ヲ
置イテ居リマス、ソレハドウ云フ風ニシテ
ヤツテ參ルカト申シマス、來年度ノ豫算
ニ計上致シマシテ御審議ヲ願ヒマシタ種牡
牛ノ配置ヲ増加シテ從來種付ニ使用シナカ
ツタ所ノ牝牛ヲ十分利用スルヤウニ導イテ
行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、
是ト關聯致シマシテ從來傳染性流産等ニ依リ
マシテ繁殖率ノ非常ニ惡カツタ地方ガ多々
アルノデアリマスガ、是等ニ對シマシテ傳
染性流産ノ豫防制壓ヲヤリマシテ、サウシ
テ其ノ繁殖ノ率ヲ増加スル、斯ウ云フ方法
ヲ執リタイト考ヘテ居リマス、是モ豫算ニ
計上シテ御審議ヲ願フタ點デアリマス、更
ニ其ノ減耗ヲ少クスル爲ニ家畜衛生方面ニ
十分留意致シマシテ、只今ヤツテ居リマス
所ノ結核病ノ検査、其ノ他ノ點ニモ十分ノ
手ヲ盡シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙
ホ過日來度々御質問ノゴザイマシタ乳用牝
牛ノ屠殺ニ付キマシテハ、通牒ヲ出シマシ
テ成ベク其ノ利用ヲ圖ルヤウニト云フ方法
ヲ執ツテ居ルノデアリマス、無論斯ウ云フ
ヤウナ方法ト關聯致シマシテ、此ノ法律ヲ

御協賛願ヒマスナラバ、其ノ運用ニ依リマ

シテ經營ヲ安定セシメ、其ノ乳製品或ハ牛
乳ノ使用上ニ支障ノナイヤウニサセテ行ク
ト云フ風ニ努メテ行キタイト考ヘテ居ルノ
デアリマス、尙ホ過去ノ増加ノ實績カラ申
シマス、乳牛方面ハ割合ニ順調ニ増加ヲ
致シテ居ル狀況ニゴザイマス

○鹽川委員 此ノ乳製品ノ輸出ニ付キマシ

テハ、政府ノ御計畫ニ依レバ十八年度ニ於
テハ丁度本年ノ倍額ヲ輸出スルト云フヤウ
ナ計畫ガ立テラレテ居ルノデアリマス、ソ
レガ即チ國策上重要ナル役目ヲ果ス譯デア
リマスカラ、隨テ其ノ倍額ヲ輸出スルダケ
ノ十分ナル牛乳ヲ生産スルヤウニ、ドウ
カ増産計畫ニ於テハ間違ナク實現ヲセラレ
ルヤウニ希望ヲ致ス次第デアリマス

ソレカラ今度ハ條文ニ付テ簡單ナ御尋ヲ

致シタイト思ヒマス、此ノ第二條ノ規定ヲ
見マス、第二條ノ表面ニハ現ハレテ居リ
マセヌガ、其ノ半面ニ於テハ牛乳ノ販賣ニ
關スル施設ヲ行フト云フコトヲ前提トシテ、
此ノ第二條ト云フモノガ規定セラレタヤウ
ニ思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デゴ
ザイマスカ

○岸政府委員 御尋ノ點ハ鹽川君ノ仰シヤ

ル通りデアリマス

○鹽川委員 サウ致シマス、此ノ販賣ニ

關スル施設ト云フモノハ、各府縣ニ於テ此
ノ施設ヲ行フコトニナルト思ヒマスガ、其
ノ組織内容等ハドウ云フ御方針デサウ云フ
コトヲヤラレル御考デアリマスカ、其ノ點
ヲ御伺シタイト思ヒマス

○岸政府委員 是ハ命令事項ノ中ニアリマ

スヤウナ團體ヲシテ、只今農林省ニ於テ獎
勵致シテ居リマス所ノ牛乳共同處理施設ノ
ヤウナ仕事ヲ普及サセマシテ、サウシテ生
産シタ所ノ牛乳ヲ共同ノ施設ニ依ツテ完全
ナ處理ヲシテ行ク、從來個々ノ生産者ガ其
ノ取扱ノ不十分ナ爲ニ蒙ツテ居リマシタ所
ノ各種ノ損害ヲナイヤウニシテ行キタイ、
斯ウ考ヘテ居リマス、是等ニ對シテハ十分
デハアリマセヌガ、現在モ豫算ヲ持ツテ居
リマスノデ、其ノ方面ニ對シテ多少ノ助成
ヲシテ行クコトガ出來ルカト考ヘテ居リマ
ス

○鹽川委員 次ニ第三條ニ付テ御伺ヲ致シ

マスガ、牛乳ノ取引ト云フコトガアリマス
ガ、是ハ要スルニ牛乳ヲ生産スル者ト、ソ
レカラ牛乳ノ需要者或ハ乳製品ノ加工業
者、サウ云フ者トノ賣買關係ト云フモノ
ガ、即チ取引デアルト思フノデアリマス、
サウスルト此ノ取引ノ弊害ト云フモノハ、

或ハ牛乳生産者ノ側ニ其ノ弊害ノアル場合モアリ、或ハ又牛乳需要者ノ側ニ於テ弊害ノアル場合モアルト思フノデアリマス、是其ノ場合々々ニ依ツテ違ツテ來ルト思フノデアリマスガ、シテ見レバ生産者側ニ弊害ガアツタ場合ニハ、其ノ生産者側ノ弊害ヲ矯正シテ行ク、又需要者側ニ弊害ノアツタ場合ハ、需要者側ノ弊害ヲ矯正ヲシテ行クト云フ風ニスルノガ當リ前ナコトダト思フノデアリマス、然ルニ此ノ第三條ニ於テハ一方ノ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シテ、統制ニ關スル決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得ト云フ風ニナツテ居ルノデアリマシガ、是ハ取引上ノ弊害ヲ除クト云フコトニナレバ、雙方ニ對シテ是ハ爲スベキデハナイカ、生産者側ダケニ命ズルト云フコトニナレバ、是ハ法律上片手落ノヤウナ、不公平ノヤウナ取扱方ニナリハセヌカ、斯ウ思フノデアリマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

ト云フ點ニアルノデアリマシテ、生産者ガ折角共同處理施設等ヲ行ヒ、サウシテ立派ナル所ノ商品ヲ出シテ行クト云フコトヲヤリマシテモ、中ニ心得ナ者ガアリマシテ、或ハサウ云フヤウナ施設ニ服セズシテ拔賣ヲスルトカ、或ハ折角皆ガ揃ツテ純正ナル乳ヲ出サウト組合デ決メテ居リマシテモ、ソレヲ守ラナイデ行クトカ、サウ云フコトガアリマス爲ニ、全體ニ於テ結束ガ亂レタリ、又全體ニ於テ不利ヲ來スヤウナコトノナイヤウニ、其ノ團體ガ十分其ノ目的ヲ達シ得ルヤウニシタノデアリマシテ、其ノ點團體販賣ニ依ル所ノ利益ガ確保出來ルヤウニ致シタノデアリマス、勿論取引ニ於キマシテ需要者側ニ於ケル色々ナ統制ヲシナケレバナラヌ點ガアラウト思ヒマスガ、ソレハ四條ノ二項ニ於ケル規定等ニ於キマシテ、製酪業或ハ牛乳ノ販賣ヲスル者ト第三條ノ團體ノ間ニ於キマシテ、取引ノ契約ヲ致シマス、其ノ内容ノ取引條件ヲ十分檢討シテ、サウシテ間違ノナイヤウニモセシメマスシ、又時ニ間違ガアレバ訂正サセルヤウニ命令ガ出シ得ルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ方面ニ於テ十分需要者側モ抑ヘテ行クトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ製

酪業者ノ組合ノ仕事其ノモノニ付キマシテモ、大體共存共榮、協力ト云フ趣旨ニ於テ私共指導モシテ行キマスノデ、サウ云フ方面カラモ十分サウ云フコトノナイヤウニ指導ガシテ行ケルト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 只今畜産局長ガ御述ニナリマシタ點ニ付テハ、其ノ團體内ノ統制ヲ鞏固ニスルガ爲ニ、即チ第三條後段ノ法人ノ統制ニ關スル決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトガ出來ルヤウニ規定セラレタ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ私共ハ洵ニ同感デアリマス、併シ此ノ第三條ノ前段ノ方ニ牛乳ノ取引上ノ弊害ヲ豫防スル、又ハ矯正スル、斯ウ云フ取引上ノ弊害ヲ掲ゲデアリマス以上ハ、是ハ取引上ノ弊害ト申シマスレバ、即チ取引ハ相手方ノアル仕事デ、雙方ノ責任ノアル仕事デアリマスカラ、雙方ノ責任ノアル場合ニ於テ、一方ダケヲ法律ヲ以テ強制シテ行キ、一方ニ於テハオ構ヒナシダト云フコトニナルト、ドウシテモ法律上不公平ナ取扱方ダト斯様ニ考ヘルノデアリマス、殊ニ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ハ、先刻來モ申上ゲタ通り洵ニ是ハ農家ノ副業トシテ行フノデアリマスカラ、多クハ小農デアリマス、サウ云フヤウナ人ニ對シテハ法人ノ統制ニ服スルト云フ

コトヲ命ズルコトガ出來ルガ、モウ一方ノ相手方デアル需要者側ニ對シテハオ構ナシダト云フコトニ付テハ、ドウシテモ當ヲ得テ居ラスト考ヘラレルノデアリマス、ソレニ對シテドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○岸政府委員 私ノ言ヒ廻シガ惡イノカモ知レマセヌガ、勿論取引モ契約デアリマスカラ、雙方ノ合意ニ依ルノデアリマスガ、先程御話ノアリマシヤウニ、生産者側ニ於テモ取引上ニ於テ或ハ加水ヲスル場合ガアルトカ色々從來見ラレルヤウナ弊害ガアルノデアリマス、是等ハ結局生産者全體ノ不利益ニナルノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ弊害ヲ除去シテ立派ナ良質ノ牛乳ヲ生産スルト云フコトニ協力出來ルト思フノデアリマス、デアリマスカラ、サウ云フ弊害ニ付テハ協力シテ統制シテ、販賣スル條件或ハ出荷ノ條件等ニ依リ、ソレヲ抑ヘル必要ガアルト思ヒマスガ、其ノ扱方ニ付キマシテハ結局取引ノ契約ヲスル場合ニ於テ、或ハ生産ヲ制限シナケレバナライヤウナ不利ナ條件ヲスルト云フヤウナコトガアルダウト思ヒマス、即チ非常ナ不當ナ安イ値ヲ考ヘルトカ云フコトガアルダウト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテハ四條ノ二項ニ於テ十分抑ヘテ行ケル、斯ウ云フヤ

ウニ考ヘテ居ル次第アリマス、即チ第三條ニ於テ生産者ノ方ガ立派ナ取引ガ出來ルヤウニシ、第四條ニ於テ需要者ノ方ガ相手方ニ對シテ十分公正ナル取引ヲスルヤウニ致シテ居ルト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 色々ノ御説明ニ依リマシテ大分諒承致シマシタ、併シ第三條ノ後段ノ規定ト云フモノヲ見マス、ドウシテモ生産ヲ業トスル者ニ對シテハ酷ナ規定ニナツテ居ル、或ハ之ヲヒドク申シマスレバ弱イ者イデメダト云フ法律ノヤウニ解セラレルノデアリマス、併シナガラ是ハ勿論其ノ運用ノ如何ニ依ツテ、其ノ弊害ヲ除クコトガ出來ル譯デアリマスカラ、其ノ運用ノ點ニ付テ十分ニ生産業者ニ對シテ、過酷デアルト云フヤウナ世間ノ非難ヲ招カザルヤウニ、御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ第四條デアリマスガ、是ハ一ツ實例ヲ擧ゲテ御尋申上ゲタイト思ヒマスルガ、例ヘバ東京デ牛乳ノ販賣ヲ業トスル者ガ千葉縣ニ於テ牛乳ヲ購入スル、斯ウ云フ場合ニ於テハ、是ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケル譯デアリマスガ、其ノ行政官廳ハドチラノ行政官廳デアリマスルカ、ソレヲ伺ヒマス
○岸政府委員 御尋ノ點ハ牛乳ノ生産地ノ地方長官デアリマス

○鹽川委員 此ノ法文デ見マスルト、是ハ生産地ノ行政官廳ノ許可ヲ受クルト云フ風ニ、取レルヤウニ書イテアルノデアリマスルガ、サウ云フ風ニ御考ニナリマスルカ
○岸政府委員 其ノ點ハ命令ニ於テ明ニシタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 此ノ命令要綱ガ出テ居リマスルガ、ソレニハ何等此ノ事ニ付テハナイノデアリマスルガ、ソレハ後デ御加ヘニナル積リデアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○岸政府委員 是ハ多少取急ギマシタ爲ニ不備ナ點モアツタラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ後ニ加ヘル積リデアリマス

○鹽川委員 一般ノ場合ニ於テ牛乳ヲ賣買スル時ニハ行政官廳ノ許可ヲ受クルコトニナツテ居リマスルガ、特定ノ場合ニハ許可ヲ要シナイヤウニ命令ニ於テ規定ヲスルヤウデアリマス、其ノ一ツノ場合トシテ、

自家用ノ場合ハ許可ヲ要セズト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ自家用ト云フヤウナ意味ハドウ云フヤウナ場合ヲ指シテ居ルノデアリマスルカ、御伺致シマス

○岸政府委員 此處ニ掲ゲマシタ自家用ト云フノハ、極メテ消極的デアリマシテ、農家ガ自分ノ家デ自分ノ家族ガ飲ムト云フ程

度デアリマス、隨ヒマシテ大キナ工場ガ其ノ自分ノ工場ニ使フト云ツタヤウナコトニハ考ヘテ居リマセヌ

○鹽川委員 實例ヲ申上ゲマシテ御伺致シマスルガ、例ヘバ病院等デ自分ノ入院患者ニ飲マセル爲ニ牛乳ヲ取ル、斯ウ云フヤウナ場合ニハ、ソレハ結局ニ於テ病院スレバ只デ病人ニ給與スルノデハナク、ヤハリ入院料ノ中ニ牛乳代モ含マレテ居ルノデアリマスガ、サウ云フノハ是ハ自家用デアリマスカ、或ハ自家用デアリマセヌカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○岸政府委員 其ノ點多少先程私ガ申上ゲマシタコトハ思ヒ違ヒラシテ居リマシタカラ、訂正ヲ致シマスガ、只今仰シヤルヤウナモノヲモ含ンデ居リマス

○鹽川委員 病院デ使用スル場合ハ是ハ自家用ト見ル、斯ウ云フ譯デアリマスナ、ソレデハ更ニ「ホテル」ノ食堂等デ、其ノ食堂ヘ入ツテ來ル御客ニ牛乳ヲ供スルト云フヤウナ場合ハ自家用ト見ルノデアリマスカドウカ、御伺シテ置キマス

○岸政府委員 「ホテル」自身ガ牛ヲ飼ツテ、サウシテ生産ヲシテ供與シテ居ルモノデアリマスレバ、是ハ自家用ト認メマス

○鹽川委員 サウスルト病院ノ場合ハ自家

用ト見ル、「ホテル」ノ場合ハ自家用デナイサウ云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマスカ
○岸政府委員 「ホテル」ノ場合モ自家用ト見テ居ル譯デアリマス

○鹽川委員 先程畜産局長ノ御答辯ハ、「ホテル」ガ自分デ牛ヲ飼ツテ、サウシテソレカラ乳ヲ採ルト云フコトデアレバ自家用ダスウ云フ意味デ仰シヤツクノデハアリマセヌカ——其ノ時ハ自家用デスネ、ソレカラ病院ニ於テ病院ガ外カラ乳ヲ買ツテ、サウシテ自分ノ所ノ入院患者ニ飲マセルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ自家用デアリマセヌカドウカ

○柴野説明員 一寸私カラ御説明申上ゲマス、自家用デアアルカナイカト云フコトハ、非常ニ法律的ニ限界ガ難カシウゴザイマスガ、要スルニ吾々ノ考ヘテ居リマスノハ取引ノ用ニ供スルモノヲ對象トシテ、ソレヲ許可制度ニシテ行キタイト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ病院ノヤウナモノハ入院料ノ一部ニ入ツテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハ病院ノ性質トシテ營業ノ用ニ供スルト云フ風ニ見ラレナイコトハ明カデアラウト思ヒマス、但シ只今「ホテル」ノヤウナ問題ニ付キマシテハ、是ハ性質カラ言ヘバ營業ノ用ニ供スルト云フ風ニモ考ヘラレマスノデ、

サウ云フ場合ハ、嚴格ナル法律論カラ言ヒマスルト、許可ヲ要スルト云フ風ニナルカト思ヒマスガ、吾々ノ考ヘテ居リマスノハ、一般ニ市場ニ於テ主トシテ取引サレ、又加工ノ用ニ供セラルル爲ニ搾乳サル原料乳ト云フモノノ取引ガ公正デアルト云フコトヲ要求致シテ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ風ニ社會通念的ニ見レバ、只今御舉ゲニナリマシタヤウナ例ノ場合ニ於テモ、行政上ト致シマシテサウ云フモノヲ許可制度ニシナケレバナラヌト云フ必要モナイカト云フ風ナ意味ニ於テ、畜産局長カラソレヲ自家用ト看做スト云フ風ナ御言葉デ御説明申上ゲタト思ヒマスガ、其ノ點ハ非常ニ法律的ニハ難カシイ點デアリマスカラ、只今申シマシタヤウナ精神ニ於キマシテ、命令ヲ書ク際ニ於キマシテ、更ニ一層研究致シマシテ、御趣旨ニ副ヒタイト云フ風ニ思ツテ居リマス

○鹽川委員 今度ハ第五條デアリマスルガ、第五條ハ乳製品ノ製造ヲスル場合ニハ許可ヲ要スルト云フ事柄ガ原則ニナツテ居リマス、今日乳製品ノ製造能力ヲ見マスルト、現在ノ四倍マデハ製造能力ガアルト云フ風ニ承知シテ居ルノデアリマス、即チ今日ノ四倍ノ牛乳ガ出テモソレヲ現在ノ設備ヲ以

テ消化ヲシテ行クコトガ出來ル、是ダケノ今日餘裕ヲ持ツテ居ルヤウニ承知シテ居リマスルガ、サウ云フヤウナ場合デアリマスレバ、新規許可ト云フコトハ、是ハ餘程特殊ノ場合ニ限ラルルヤウニ思フノデアリマス、併シナガラ例ヘバ一地方デ集團のニ多數ノ乳牛ヲ飼育シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ或ハ交通關係等カラ、其ノ場所ニ於テ工場ヲ設置スル方ガ利益デアル場合モ想像シ得ラレルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此ノ新規許可ノ標準ハドウ云フ風ニ御決メニナツテ居リマスカ、其ノ點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト思ヒス

○岸政府委員 現在ニ於ケル工場能力ハ現在製造シテ居ル數量ニ比ベマスト遙ニ大キイノデアリマスルガ、ソレハ或ル特殊ナ地方ニ澤山ノ工場ガアルト云ツタヤウナコトガアリマスノデ、新シイ地方ニ於キマシテハ、無論其ノ立地ノ關係ヲ考ヘマシテ、工場ヲ作ラナケレバナラヌ處ガアルト思フノデアリマス、是等ニ付キマシテハ勿論其ノ地方ニ於キマス農業上ノ立地ノ條件、又工業ヲヤツテ行キマス點ニ於キマシテ、ドノ位ノ規模ニマデ伸バシテ行ケルカト云フ點ヲ十分ニ考ヘマシテ、許可ヲ決定シテ行カナケ

レバナラヌト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ十分其ノ標準トナルモノヲ定メテ、間違ヒナイヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 尙ホ關聯致シマシテ御伺シマス、生産者自ラガ工場ヲ經營スルト云フ事柄ハ、最モ理想的ナ方法デアルト思フノデアリマスルガ、サウ云フ場合ニ付テハ之ヲ如何ニ御取扱ニナリマスカ、其ノ點モ御伺致シマス

○岸政府委員 其ノ點ハ經營スル者ガ生産者デアルト否トヲ問ハナイ積リデアリマス

○鹽川委員 第五條ノ許可ノ標準ニ付キマシテハ追テ御制定ニナルヤウデアリマスガ、十分ニ御考慮下サイマシテ從來ノ業者ヲ壓迫スルコトナク、又更ニ新シキ發展ニ資スルヤウナ標準ニ依ツテ御定メ下サルヤウニ御願致シマス

ソレカラ許可ノ效力ヲ失フ場合ガ此ノ命令ニ依ツテ規定セラレルヤウデアリマスガ、其ノ一ツニ製酪業者ガ死亡シタ場合ニハ許可ノ效力ヲ失フヤウナコトガアリマス、併シ此ノ場合ニ於テハ是ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、製造事業ヲ爲スニ付テハ相當ノ資金ヲ入レ、相當ノ設備ヲ致シテ居ルノハ勿論デアリマスガ、ソ

レガ死亡シタ爲ニ直チニ其ノ許可ノ效力ヲ失フコトニナリマスレバ、是ハ實ニ經濟上ニ大ナル打撃ヲ受ケルト思フノデアリマス、隨テサウ云フ死亡等ノ場合ニ於テモ家督相續人ガ之ヲ繼承スル場合ニ於テハ、其ノ效力ヲ失フト云フ風ニナサラズトモ差支ナイト思フノデアリマス、殊ニ今日日本ノ家族制度ヲ維持シテ行ク上カラ考ヘマシテモ、家督相續人ガ親ノ後ヲ繼イデ、一切ノ債權債務ヲ繼承シテ行ク建前カラ考ヘマシテモ、其ノ方ガ日本ノ國情ニ適合シテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○柴野説明員 許可ト云フモノノ法律的性質カラ見マシテ、法人ノ解散シタ場合ト、自然人ノ死亡シタ場合トヲ對照シテ只今御手許ニアリマスヤウニ書キマシタガ、法人ノ解散シタヤウナ場合ト違ヒマシテ、自然人ノ相續ノ場合ニ付キマシテハ、御話ノヤウニ其ノ相續人ニ引續キ許可ヲシテ行クト云フ風ニ取扱ヒタイト存ジマス

○鹽川委員 工場ガ滅失ヲシタト云フヤウナ場合於テハ許可ノ效力ヲ失フコトニナツテ居リマスガ、是ハ天災地變等ニ依ツテ工場ガ滅失ヲスルト云フヤウナ場合ヲ想像シタノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○柴野説明員 滅失シタ場合ト云フノハ、

天災ニ因ル場合モアリマスシ、火災其ノ他

ニ因ル場合モアリマスルガ、元來此ノ五條

ノ許可ハ營業ノ許可デハゴザイマセヌデ、

營業ノ内容ニ關スル許可ニナツテ居リマス

カラ、例ヘバ燒ケタ儘デ再ビ建テル意思ノ

ナイヤウナ場合モゴザイマスノデ、ソレノ

權利ダケ保留スルノモ如何カト存ジマス

シ、殊ニ製造能力トカサウ云フ色々ノモノ

ヲ條件トシテ許可制度ヲ採ツテ居リマスノ

デ、サウ云フ例ヘバ火災ニ因ルトカ云ツタ

ヤウナ場合モアルト存ジマス、サウ云フ時

ニハ更ニ許可ヲ申請シテ戴ケバ、同一人ニ

對シ引續キ營業ノ許可ヲ受ケルヤウニ致シ

タイト思ツテ居リマス

○鹽川委員 天災地變等ニ依ツテ工場ガ滅

失シタト云フ事柄ハ、本人ニ取ツテハ洵ニ

致命的ノ打撃ト思フノデアリマス、其ノ致

命的ノ打撃ヲ受ケテ、其ノ上ニ直グニ許可

ノ效力ガナクナルト云フコトニナレバ、是

ハ其ノ災害ヲ受ケタ人ヲ自暴自棄ニ陥ラシ

メル、斯ウ云フコトニナリハセヌカト思フ

ノデアリマス、隨テ本人ニ於テモウ引續イ

テヤルト云フ意思ノナイ場合ハ當然デアリ

マスガ、然ラザル限りハ、先ヅ多クノ場合

ニ於テヤハリ何處マデモ、復興ヲシテ行カ

ウ、サウシテ更ニ發展ヲシヨウト云フノガ

通常ノ場合デアルト思ヒマス、ソレ故ニ本

人ニ繼續ノ意思ノアツタ場合ハ、ヤハリ此

ノ許可ハ繼續ヲシテ行ク、斯ウ云フ風ニシ

タ方ガ實際ノ事情ニ適合シハセヌカト思ヒ

マスガ、其ノ點ハ如何御考ニナリマスカ

○岸政府委員 御趣旨ノ通りニ取計ヒタイ

ト思ヒマス

○鹽川委員 第五條ノ乳製品ノ種類ハ、練

乳、粉乳「バター」斯ウ云フ風ニ限ラレテ居

ルノデアリマスルガ、之ニ「クリーム」「チー

ズ」ト云フヤウナモノヲ入レルト云フコ

トハ如何デアリマスルカ、其ノ點ヲ御伺シ

タイト思ヒマス

○岸政府委員 御示シノ「クリーム」「チー

ズ」等ハマダ左程ニ數量ハナイノデアリマ

スガ、無論ハ將來ニ於テ考ヘル積リデア

リマス

○鹽川委員 私ノ質問ハ以上デ終リマシタ

○田中委員長 野溝君

○野溝委員 私ハ本會議デ主ナル點ヲ質問

シテ置キマシタノデ、少シ掘下ゲテ内容ニ

互ツテ數點質問ヲシテ見タイト思ヒマス、

同僚諸君カラモ微ニ入り細ニ互ツテ質問ヲ

サレマシテ餘程了解ガ出來タノデアリマス

ルガ、尙重複スル點モアルカモ知レマセヌ

ガ、角度ヲ少シ變ヘテ質問ヲシタイト思ヒ

マスカラ、當局モ私ノ意思ヲ參酌サレマシ

テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

先ヅ第一ニ御訪ネシタイコトハ、本法ノ

内容ガ悉ク統制ノ條文デアルニ拘ラズ、之

ヲ調整法トシタノハ一體ドウ云フ御意思デ

アルカト云フコトデアリマス、之ヲ先ヅ最

初ニ御聽キシテ置イテ、ソレカラ段々質問

ニ入ツテ行キタイト思ヒマス

○岸政府委員 本條文ガ各種ノ統制ヲヤツ

テ居ルニ拘ラズ調整法ト云フノハドウ云フ

積リカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、元

來此ノ仕事ハ生産カラ加工利用マデ一貫シ

テ事業ニ彈力ヲ與ヘ、サウシテ仕事ガ安定

シテ行クヤウニシタイト云フ考デアルノデ、

現在ノ事業ノ狀態ヲシテ共存共榮ノ形デ全

體ノ酪農ガ發達ヲシ、一面ニ於テ國民保健

ニ貢獻シ、現在要望サレテ居ル所ノ輸出ノ

仕事ヲ遂行シテ行カウ、斯ウ云フ考デアル

ノデゴザイマス、從來ノ結果カラ見マス、

生産方面ニ於ケル所ノ狀態或ハ加工方面ニ

於ケル狀態、生産加工方面ニ於ケル所ノ接

觸面ノ徒ナ摩擦ヲ無クスト云フコトハ過日

來申上ダタ通りデアリマスガ、是等ニ付テハ

先日來申上ダマシタヤウニ、生産ノ方面ニ

於テモ其ノ生産者團體ガ一團トナツテ其ノ

間ニ一ツノ統制アル所ノ形ニ於テ生産ヲ進メテ

行ク、又加工ノ方ニ於テモ其ノ業者ガ從來ノ

ヤウニ自由勝手ナコトヲシテオ互ニ不利ヲ

招クコトガナイヤウニスル、此ノ兩者ノ接觸

スル所ニ於テ從來或ハ加工業者側カラ起シ

テ來タ所ノ色々ノ取引上ノ弊害、或ハ或ル場

合ニ於キマシテハ生産者側カラ起シテ行ツ

タ取引上ノ弊害ト云ツタヤウナモノヲ其ノ

取引契約ノ決定ニ於テ十分調整ヲシテ、ソ

コニ公正妥當ナ條件ニ於テ取引ガ行ハレ、

仕事全體ノ健全ナル發達ヲ圖ラウト云フ點

ニアルノデアリマス、調整ト申シマスノモ

サウ云フヤウナ意味ヲ十分ニ含ンデ考ヘタ

カラデアリマス

○野溝委員 洵ニ妥當適切ナル御答辯デア

リマシテ、ソナナ調子ニ此ノ法案ガ運用

サレルナラバ洵ニ結構ト思フノデアリマス、

併シ此ノ法案ノ内容ヲ檢討シテ見マスル

ト、畜産局長ノ御答辯ノ通りニハドウモ行

キ兼ネル點ガアリハセヌカト云フコトヲ感

ズル者デアリマス、特ニ本法ハ第一條ノ目

的ヲ達成スル爲ニ作ラレタ法案デアリマス

ガ、第一條ノ目的ノ中、牛乳ノ需給ノ調整

及ビ取引ノ公正ヲ圖ルト云フ此ノ一點ダケ

デモ、私ハ大イナル不安ト疑問ヲ茲ニ持ツ

者デアリマス、畜産局長ノ答辯ニ依リマス

ルト、生産者ト製酪業者全體ニ互ル利害ノ調整ヲ圖ルト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、一體生産者ハ勿論自分ノ生産シタル牛乳ノ價格ノ安定ト云フコトヲ要求シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ價格ノ點ニ付テ保證ヲサレコトヲ先ヅ第一ニ條件トスルデアリマセウ、併シ加工業者ハ餘リ牛乳ノ價格ガ暴騰スルコトニナリマスルト加工品ノ値段モ高クシナケレバナラナイノデ、勢ヒ販路、所謂市場ト云フモノガ狹メラレテ來ルノデアリマス、サウナルトソコニ加工業者ハ一種ノ不安ガアリマスカラ、ドウシテモ牛乳ノ市價ト云フモノヲ叩カナケレバナラスノデアリマス、ソコニ從來ノ加工業者ト牛ノ飼育者トノ間ニ忌ハシキ事態ガ各所ニ起ツテ居ツタノデアリマス、御承知ノ通り生産者タル牛飼ガ加工業者ニ勸メラレマシテ、今度才前達ハ牛ヲ飼ツタガ宜イダラウ、市價ガ非常ニ高クナツテ非常ニ儲ケニナル、牛ヲ飼ヘ、牛ヲ飼ヘト云フ譯デ牛ヲ飼ハセマシタ、牛飼ハ豫約ヲシテ置キマシタ所ノ豫約値段通りニ取引ヲシテ呉レルト思ツタ所ガ、イザ取引ニナリマスト、最初ノ豫約ヨリハズツト叩イデ取引ヲマスガ、農家ハ懲リノトナリマシテ、今

日ノ如ク牛飼業者ガ少クナツタノデアリマス、所ガ、畜産局長ノ答辯ニ依リマス、鹽川君ノ質問ニ對シテ、牛ノ乳量ガ順調ニ殖エテ來ル傾向デアルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、事實ハサウデナイト思ヒマス、所謂外面のニ之ヲ見レバ殖エテ來テ居ルコトハ事實デアリマス、併シソレハ所謂生産カラ販賣ヘノ有機的ナ機關ガ整ツテ居ル場合ニ於テハ——具體的ニ申上ゲマスナラバ北海道ノヤウナ地方ニ於キマシテハ畜産局長ノ答辯ハ妥當デアルト思フノデアリマス、併シ是ハ一例デアリマスガ、和歌山縣等ニ於テハ御承知ノ通り二箇所ノ煉乳工場ガ出來タノデアリマスガ、此處ニ於テハ一日三十石位シカ乳量ガナイノデアリマス、ソレガ爲ニ二箇所ノ煉乳工場ハ經營ガ成立タズシテ、今日中止狀態ニアル譯デアリマス、是ハ一例デアリマスガ、其ノ他長野縣ニ於キマシテモ、ソノ例ハ枚舉ニ追ナイノデアリマス、特殊ノ地域ニ於キマシテハ、局長ノ申サレタ通り乳量モ殖エテ來テ居ルノデアリマスケレドモ、全國的ニ見マスルト、局長ノ答辯ハ妥當性ヲ缺クデアリマス、コナナ狀態デアリマシテ、取引ノ圓滑或ハ公正ト云フコトハ今日マデ行ハレテ居ラナカッタ、其ノ弊害ヲ除去スル爲ニ茲ニ此ノ法案ガ實

施サレルコトニナリ、洵ニ私ハ結構デアルト思ヒマス、併シ之ヲモツト具體的ニ掘下ゲテ檢討シテ見マスルト、牛乳ノ需給圓滑ヲ期スルニハ、ドウシテモ乳牛ガ豐富ニ飼育サレナケレバナラス、又其ノ飼育スルニハ生産費ト云フモノガ重要ナ條件トナツテ來マス、生産費ノ中ニハ勿論勞働時間ノ關係、或ハ飼料ノ關係、或ハ色々其ノ他ノ關係ガアリマスガ、兎ニ角此ノ生産費ト云フモノガ確立保證サレナケレバ、牛ヲ飼フト云フ氣ニハナレマセヌシ、又牛ノ數モ殖エル管ハナイノデアリマス、然ルニ法案全體ヲ通シテ見マスルト牛乳ノ加工ノ點ニ對シマシテハ、命令方面ヲ見マシテモ、相當具體的ニ規定サレテ居リマス、併シ根本條件ノ生産費ノ問題ニ對シマシテハ、具體的ニ示サレテ居リマセヌ、昨日モ坂下委員ノ質問ニ對シテ、生産費ト云フモノハ中々面倒ナモノデアツテ、其ノ生産費ヲ保證スルヤウニ努メテ行キマス云フダケデ、答辯ヲ濁サレテ居ルノデアリマスガ、酪農業ノ目的ヲ達スルノニ、其ノ基本ニナルベキモノハ生産者ニ對スル安定策デアリマス、ソレニハ生産費ノ確立保證スルコトデアツテ、之ニ對スル所ノ當局ノ見解ト云フモノガ此處ニ明示サレナケレバ、私ハ折角此ノ法案ヲ作ラ

レマシテモ、此ノ法案ノ遂行ハ完全ニ出來得ナイト云フコトヲ思ツテ居ルノデアリマス、私ハ先ヅ其ノ生産費ニ對スル當局ノ見解ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス

○岸政府委員 酪農業ノ安定ヲ圖ルニハ、牛乳ノ生産費ヲ確立スル必要ガアル、ソレガ少シモ現ハレテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ御質問ダト思ヒマス、勿論酪農業ノ生産力ノ擴充ヲ行ヒマシテ、サウシテ豫定ノ計畫ヲ實施シテ行クト云フコトニ相成リマスレバ、之ヲ生産ヲシテ居ル所ノ者ニ最少限度ノ生産費ヲ確保フヤツテ行クト云フコトハ、是ハ必要ナコトデアルト考ヘルノデアリマシテ、ソレハ當然ナコトデアルト思フノデアリマス、此ノ法律ヲ運用スルト云フヤウナコトモ、之ニ依ツテ事業全體ノ合理化ガ圖ラレ、獎勵ノ方面カラノ指導ト相俟ツテ、生産費全般ノ合理化ガ圖ラレ、サウシテヨリ多クノ利潤ガ關係シタ生産者ニモ、事業ヲスル者ニモ及ブト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ牛乳ノ生産費ノ決メ方ト云フモノニ付キマシテハ、過日來色々御質問ニ對シテ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、中々困難デアリマスガ、中央及ビ地方ニ於ケル所ノ酪農業ニ關シマシテ、其ノ乳價ヲ決定スル

場合ニ於テ、十分參考ニナル所ノ材料ヲ取
纏メテ、サウシテ適正ナル乳價ヲ決定スル
ヤウニ致シマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ
ハ、十分牛乳生産者ノ立場ニ於キマシテ、
適正ナル所ノ乳價ニ依ツテサウシテ其ノ生
産費ノ確保ガ得ラレルコト思フノデアリ
マス、是ハ勿論場合ニ依リマシテ現状ニ於
テハ色々ニ異ツタ場合モアルカト思ヒマス
ガ、是等ニ對シマシテハ將來ノ指導ニ依リ
マシテ十分改善ヲ加ヘ、サウシテ其ノ經營
上不合理ガアルナラバ之ヲ是正シ、其ノ合
理化サレタ結果有利ニ導カレタル條件ノ下
ニ生産費ガ十分確保サレルヤウニ導イテ行
カナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○野溝委員 時間ガ掛リマスノデ、私ハ一
問一答ノ形式ヲ成ルベク避ケタイト思ヒマ
スカラ、當局モ左様ナ意味デ御答ヲ願ヒマ
ス、只今ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、生
産費ヲ規定スルコトハ非常ニ面倒ダト仰セ
ラレルガ、併シ生産費ヲ大體規定シナケレ
バ具體的ニ質疑ガ出來マセヌ、物價指數ノ
關係モアリマスシ、客觀的ナ諸條件ニ依ツテ
色々違ヒマスガ、併シ或ル程度マデハ法規ノ
上ニ之ヲ示サナクテモ、大體ハ現在ノ物價
指數ノ關係、特ニ飼料ヲ中心ニ色々ノ條件

ヲ綜合シテ、其ノ上デ乳量一斗ドノ位ノ生
産費ガ掛ル、現在ナラバ此ノ位デ一ツヤツ
テ載キタイト思フト云フ腹案カ何カナケレ
バ、一寸論議ヲ進メル上ニ於テモ進メニク
イト思フノデアリマス、現在ニ於テハドノ
位ナ生産費ヲ見積ラレテ居ラレルカ、腹案
ハナイデセウカ、現在ドノ位ガ宜イガラウ
ト云フ意見ヲ御聽カセ下サルナラバ私ハ參
考ニナルト思フノデス

○岸政府委員 生産費ノ問題ハ是ハ今野溝
サンノ仰シヤルヤウニ關係スル因子ガ中々
澤山アリマスノデ、隨ヒマシテ地方的ニ色
色異ツテ居ル點ガアルガラウト思ヒマス、
其ノ點ニ付テハ過日モ申上ゲタ通りデアリ
マシテ、ソレ等ノモノヲ斟酌シテヤラナケ
レバナラスト思ヒマス、今ドノ位ナ乳價ガ
宜イノダト云フコトハ、是ハ此處申上ゲ
ルコトハドウカ一ツ許シテ載キタイト思ヒ
マス

○野溝委員 生産費ノ問題ハ非常ニ面倒ダ
ト斯ウ仰シヤルノデスガ、私ハ酪農デアラ
ウト、馬政計畫デアラウト、畜産ニ關係シタ
モノハ經濟行為ノ破綻ガ畜産業ヲ發展セ
シムルカセシメナイカノ「ポイント」ダト思
フノデアリマス、畜産業ガ何故不振ヲ來ス
カト云フト、經濟行為ガ惠マレテ居ラナイ

カラデアアル、其處ニ重要ナル「ポイント」ノ
アルコトヲ考ヘテ貰ヒタイト思フ、是ハ御
參考マデニ申上ゲマスガ、現在ノ乳價ハ私
ガ申上ゲズトモ御當局ハ能ク御存ジノコト
ト思フノデアリマスガ、大體工場渡シガ二
「キロ」二十錢内外デアルヤウデアリマス、
シテ見ルト大體是ハ一「キロ」、即チ五合五
勺ナニガシガ十錢乃至十二錢、一升ニシテ
見マス二十錢内外デアリマス、皆サン專
門家デアリマスカラ能ク御存ジガラウト思
ヒマスガ、ドシナニ乳ノ出ル牛デモ五升
以上出ル乳牛ハ一寸少イ、産後三週間前後
ガ一番牛ノ乳ノ出ル時デアリマスケレドモ、
其ノ時デサヘモ七升モ八升モ出ルナドト云
フ牛ハ少イト思フノデアリマス、大體一日
五升出ルトシテ一升二十錢デアルカラ一日
一圓デアリマセヌカ、一圓ノ收入デ牛ヲ
飼ヒ、牛ヲ飼ヘバ勿論飼料モヤラナケレバ
ナラスシ、運動モサセナケレバナラス、飼
養管理モ適切ニシナケレバナラスト云フコ
トニナリマス、コンナ飽棒ナ仕事ハヤラ
ヌ方ガ宜イト云フコトニナツテシマフ、ソ
レデハ何故現在ノ乳量ガ維持セラレテ居ル
カト云フト、是ハ養蠶家ト製絲家ニ於ケル
所ノ特約形態ト同ジコトヲヤツテ居ルノデ
アリマス、此ノ點ハ私ハ當局ニモ能ク考ヘテ

貰ヒタイト思フ、今日明治、森永ヲ中心ト
致シマシテ、其ノ他中小各工場ニ於ケル全
體ヲ通ジマシテ、大規模デアルカ小規模デ
アルカト云フダケノ違ヒデアリマシテ、大體
ハ特約形式ヲ皆採ツテ居ルノデアリマス、
ソレデ合ハナイ仕事トハ思ヒナガラモツ
イソレニ釣込マレルト云フコトト、今一ツ
ハ牛飼百姓ト云フモノハ商人トハ違ヒマシ
テサウ仕事ヲ轉々ト變ヘル譯ニハ行キマセ
ヌ、特ニ家畜ヲ飼フ者ハ考ヘ方ガ粗雑ニ出
來テ居リマス、サウ申シテハ失禮デアリマ
スガ、兎ニ角緻密デハアリマセヌ、隨テ其
ノ經濟的內容ナドト云フコトハ知リマセヌ
ノデ、慣レタ商賣ヤルニ如カズト云フヤ
ウナコトダヤツテ居ルノデアリマス、ソコ
ヘ持ツテ行ツテ御承知ノ通り何ト云ツテモ
乳量ト云フモノガ製酪業ニ對スル基本ノ條
件デアリマスカラ、其ノ乳牛飼育者ヲ獲得
スル爲ニハ製酪業者ハ非常ナ努力ヲ拂ツテ
居ルノデアリマス、併シ先程申シマシタ通
リ自分ガ損ヲシテマデモ努力ヲ拂ハヌ、何
トカシテ其ノ生産飼育者ヲ自分ノ繩張ニ抱
ヘ込ム爲ニハ非常ナ工夫ヲ凝シテ居ルノデ
アリマス、其ノ一ツノ方法ト致シマシテハ、
先ヅ農家ニ金ヲ貸シテ置ケバ中々其ノ金ノ
償還ガ出來ヌノデアリマス、先ヅ金ニ依ツ

テ縛リ付ケルコトガ一番宜イト云フ譯デ前
渡金ヲスルノデアリマス、是ハ一種ノ牛小
作ト云フノデアリマスガ、前渡金ヲスルト
ソレヲ直グ證文ニ書換ヘテシマフ、サウシ
テ金利ニ金利ガ積ンデ來テ終ヒニハ二進モ
三進モ行カズニ首ヲ括ラレテシマフ、是ハ
私ノ言フコトハ嘘デハアリマセヌ、サウ云
フコトガアルト云フコトヲ能ク御聽置キ願
ツテ置キタイト思フノデアリマス、サウナツテ
來ルトモウ完全ナ特約關係ニナリマスカラ、
又其ノ生産飼育者ハ賃銀奴隸ト化シマシ
テ——製酪業ノ資本家ヲ稱シマシテ親方ト
言ヒマス、牛ヲ飼フ者ハ之ヲ子方ト言フ、親分、
乾分ノ關係ヨリマダヒドイ關係ニナツテ來
ルノデアリマス、サウ云フ狀態デ今日ノ牛
飼育者ハ實ニ憐レナ狀態ヲ持續シテ居ル譯
デアリマス、現在乳量ガ保證サレテ居ルト
云フノハ、只今申シタヤウニ、所謂特約ノ
形ニ於テ縛ラレテ仕方ナシノ關係ト、今一
ツハソレデヤ其ノ外ニドウシテ生キテ行ク
コトガ出來ルカト云フト、自分ノ家ノ子供
ヲ酌婦ニヤツタリ、女郎ニヤツタリ、藝者
ニヤツタリ、或ハ男デアツタナラバ、之ヲ
ヤハリ軍需工場地帯ニ於ケル所ノ勞働者ニ
ヤルトカ、或ハ少シバカリ頭ノ良イノハ夜
學ニデモヤラシタリ、何處カノ番頭ニヤル

トカ、ト云フヤウナコトヲシテ、其ノ間接
的ナ收入ニ依ツテドウカ斯ウカ生キテ行ク
ト云フノガ乳牛飼育者ノ實情デアリマス、
當局ニ於キマシテモ其ノ點ハ具體的ニ私ガ
申シタコトヲ承認シテ居ルカドウカ知りマ
セスケレドモ、最近日本ノ乳製品ガ三百万
圓近クモ輸出スルト云フコトハ是非非常ナ
進歩デアルト云フコトヲ言ツテ居リマス、
其ノ末尾ニ於キマシテ當局ハ斯クモ乳製品
ガ輸出サレルコトハ何處ニ原因ガアルカト
云フト「コスト」ノ安イコトダト云フコトヲ
立派ニ謳ハレテ居リマス、「コスト」ノ安イ
ト云フコトハ一體何處ガ原因シテ居ルカト
云フト、生産飼育者ヲ押ヘ付ケテ、生産飼
育者ガ犠牲ニナツテ居ルカラデス、生産飼
育者ガ乳酪業者カラ特約形式ノ形ニ於キマ
シテ押ヘ付ケラレテ、其ノ言フガ儘ニヤツ
テ來テ居ルガ爲ニ、先程申シマシタ通り一
升二十錢ヤ二十錢足ラズノ牛乳料金、乳價
ガ爲ニ乳製品ガ出來ル、ソレガ輸出サレル、
私ハ輸出ガ多クナツテ外貨ヲ獲入レルコト
ハ國際收支ノ均衡上賛成デハアリマスケレ
ドモ、併シ現狀ノ儘ニ於テ、現在ノ輸出額
ガ其ノ率デ段々將來伸ビテ行クト云フヤウ
ナ見透シヲ立デテ、此ノ法案ヲ立案サレタ

モノトスルナラバ、是ハ將來ニ於ケル大キ
ナ誤謬缺陷ヲ招來スルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、其ノ譯ハ只今縷々申上ゲマ
シタ通り、生産者ヲ壓迫シテ居ル、殷賑産
業ガ段々發達シテ來マスルト、コシナ古臭
イ封建殘存的ナ乳牛飼育ハ、農業ノ中デモ
經濟的ニハ最低ナ農業デアリマスカラ、勢
ヒ此ノ業態カラ離レマシテ、終ヒニハ政府
ノ樂觀シテ居ルヤウナ乳量ト云フモノハ保
證スルコトガ出來ナイト思ヒマス、此ノ點
ヲドウ云フ風ニ當局ハ御考ニナツテ居ラレ
マスカ、「コスト」ガ安イト云フコト必ズシ
モ恒久性ガアルト見ラレテ居リマスカドウ
カ、或ハ此ノ「コスト」ノ安イト云フコトニ對
シマシテ、喜ブベキ現象デアルト、當局ハ
見テ居ラレルカ、此ノ點ニ付キマシテ御所
見ヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 製酪業ノ現狀、殊ニ牛乳ノ
生産部面ニ於テ特約取引ガアツテ、生産者
ガ害ヲ被ツテ居ルト云フ御話デアリマスル
ガ、此ノ調整法モ御讀ミ下サツタ通りニ、サ
ウ云フ方面ノ弊害ヲ十分矯正シテ、サウシテ
生産者ニモ保護ガ與ヘラレルヤウニ考ヘテ
行クト云フ譯デアリマス、又其ノ生産者ハ
時ニ製酪業者カラ金ヲ借りテ困ツテ居ルト
云フ御話モアリマシタガ、サウ云フコトニ
付テハ、過般モ申上ゲマシタヤウニ、金融
方面ニ於テ色々指導シテ行クト云フ考ヘデ
アリマス、日本ノ生産費ガ安イト云フコト
ハ、現在地方ニ依ツテ色々アリマスルノデ、
全面的ニサウデアルト云フコトヲ申ス譯ニ
モ參ラナイカモ知レマセヌガ「コスト」ガ安
イト云フコトハ何レニシテモ結構ナコトデ
アルト思フノデアリマス、サウシテ「コス
ト」ヲ安くシテ利潤ヲ生ム範圍ヲ大キクシ、
ソレヲ牛乳生産者ナリ、或ハ加工業者ナリ
ニ適正ナ割合ニ於テ戻ツテ行クヤウニスル
ト云フコトガ必要ダト思ツテ居リマス、ソ
レガ餘力ガアレバアル程海外ニ伸ビル力モ
大キイノデ、其ノ點ハ十分指導及ビ保護運
用ニ依ツテ合理化サレテ行クナラバ「コス
ト」モ安くナル、斯ウ考ヘテ居リマス

○野溝委員 「コスト」ノ安イト云フコトハ
結構ナコトデゴザイマス云フ御所見ヲ伺
ヒマシテ、私モ安心ヲ致シマシタ、「コス
ト」ガ安イト云フコトハ結構ナコトデアリ
マスガ、其ノ代リ「コスト」ガ安くナレバ、
他ノ生活物資ノ方面モ安くナラナケレバ、
生産飼育者ノ「コスト」バカリ下ゲテ行クト
云ツテモ、ソレニハ一定ノ限度ガアリマス、
限度ガアリマスカ他ノ物資トノ關聯ニ於
テ考ヘテ貰ハナケレバナラヌコトダト思ヒ

マス、ソコデ問題ニナツテ來ルノハ飼料ノ問題デアリマスガ、此ノ飼料ノ點ニ付テハ本會議ニ於テモ質問ヲ致シマシタシ、又過般ノ馬政計畫ノ法案ノ委員會ニ於テモ質問致シマシテ、當局ノ御答辯ハ得テ居リマス

ガ、現在ノ牛ノ飼育者ノ乳價收入ト飼料其ノ他支出物價格ノ點トノ比率ヲ見マスルト、問題ニナラヌ價格差ヲ呈シテ居ルノデアリマス、此ノ「コスト」ヲ引下ゲルト云フコトヲ當局ガ言ハレルナラバ、勿論當局ニ於キマシテハ此ノ法案ノ命令事項中生産者ノ爲ニノ片鱗ヲ示シテ居リマスケレドモ、唯此ノ命令事項ノ片鱗ダケデハ私達安心ガ出來ナイ、共同施設ニ依ツテ飼料ノ共同購入ナドノコトモ相當考ヘラレテ居ルヤウデアリマスガ、ソレダケノ内容デハ承認ガ出來ナイノデアリマス、此ノ酪農調整法ニ依ツテ國際收支ノ均衡ヲ圖リ、大イニ日本ノ製品ヲ海外ニ輸出致シマシテ外貨ヲ取入レル、洵ニ其ノ計畫タルヤ壯タルベキモノデアリマスガ、併シ基本的ナ此ノ生産飼育者ノ生活ヲ保障スベキ此ノ「コスト」ノ問題、即チ、此ノ「コスト」ノ引下ゲニ依ル其ノ代償、所謂飼育者ノ生活物資ノ補填ガ必要デアリマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、特ニ私ハ飼

料費ニ付キマシテノ共同購入ノ點ニ付キマシテ、當局ハ此ノ酪農組合ニ對シマシテ、特別ナ何等カノ施設案ヲ御持チニナツテ居ラレルノデアアルカドウカラ御聽シテ置キタイと思ヒマス

○岸政府委員 野溝サンノ御憂慮ナサル點ハ正シク吾々モ考ヘテ居ル次第デアリマス、現在ノ乳牛ノ飼育ニ付テ飼料費ノ高クナツテ居ルト云フコトハ確ニ困難ナル所デアリマス、之ニ付キマシテ御話ノヤウナ飼料ノ共同購入等ニ付テモ十分考ヘテ見タイ、又之ニ對スル資金融通等ニ付テモ十分研究シタイと思ツテ居ルノデアリマス、尙ホ飼料ノ經濟化ヲ圖ルト云フ點カラ言ヒマス、現在購入致シテ居リマスル所ノ穀等ノ飼料ノ節約ヲ圖ツテ、他ノ代用品ヲ以テ之ニ代ヘル、其ノ企圖サレテ居ルノハ、良質ノ粗飼料ヲ多ク給スル點ニアルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ「サイロ」建設等ニ付テ、生産者ニ對スル助成ヲ行ツテ、サウシテ生産費ノ引下ニ資シテ行キタイ考ヘテ居リマス

○野溝委員 當局ノ御答辯ニ對シマシテハ満足シ得ナイコトヲ遺憾トシマスガ、併シ誠意アル御答辯トシテ私ハ只今ノ御答辯通りニ飼料費問題ハ、特ニ此ノ「コスト」トノ

關係ガアルノデアリマスカラ、十分善處シテ貰ヒタイと思ヒマス

生産費ノ問題ニ關係シタ點ハ是デ打切りマシテ、續イテ第二點ハ増産計畫ニ付テ少シ質疑ヲシテ見タイと思ヒマス、政府ノ言ハレル如ク酪農調整法ノ遂行ヲ圖ルニハ調整モ必要デアリマスケレドモ、何ト云ツテモ牛ガ必要デアアルコトヲ御認ニナツテ、色々ナ増産計畫ヲ立テラレテ居ルヤウニ思ハレマス、併シ此ノ増産計畫ノ「ポイント」ガ少シ誤ツテ居リハセヌカト思ヒマス、政府ハ團體ヲ對象トシテノ増産計畫ヲ立テテ居ラレルヤウニ見受ケルノデアリマス、畜産組合或ハ其ノ他ノ酪農組合、或ハ實行組合ト云フヤウナ團體ヲ目標トシテヤラレテ居ルヤウデアリマス、勿論私ハ團體ヲ「オミット」シヨウト言フノデアリマセヌケレドモ、眞ニ此ノ増産計畫ヲシヨウトスルナラバ、牛飼ヲスル人ヲ多ク作ルト云フコトデナケレバナラヌト思フ、所ガ今日マデノ畜産ニ關係ヲシタ團體ヲ見マスルト、全部トハ申シマセヌケレドモ、畜産ノ團體必ズシモ畜産飼育者ニ對シテ適切ナル指導ヲシテ居ルトハ限ラナイノデアリマス、故ニ私ハ特ニ畜産ノ指導ニ最モ功績ヲ擧ゲテ居リ且ツ眞劍ニヤルト云フ團體ニ對シマシテハ、政府ノ増

産計畫ニ對スル對象ガ誤ツテハ居ラナイカモ知レマセヌケレドモ、其ノ他畜産家カラ信賴ヲ得ナイ所ノ幾多ノ團體ニ對シマシテハ、ドウ云フヤウナ見解ヲ持ツテ居ラレルノデアアルカ、畫一的ナ見解ノ下ニ此ノ増産計畫ノ方針ヲ進メヨウトスルナラバ、茲ニ大キナ誤リヲ犯スト思フノデアリマス、具體的ニ申上ゲルナラバ増産計畫ノ爲ニ助成ノ方法ヲ色々講ジテ居リマス、或ハ種牡牛ノ購入デアルトカ、或ハ配給デアルトカ、或ハ種牝牛ノ共同購入デアルトカ、或ハ飼料ノ關係デアルトカ、増産計畫ヲ遂行スル爲ニ色々ノ計畫ヲ政府ハ立テテ居リマス、併シ一例ヲ擧ゲテ申セバ、例ヘバ種牡牛ノ如キモノヲ、熱心デナイ所ノ畜産團體ニ配給致シマシテモ、折角政府ガ配給シタ所ノ種牡牛ヲ熱心デナイダケニ瘦セラカシテシマツタリ、或ハマゴノシヨウモノナラバ殺シテシマツタリ、使ヒ物ニナラヌヤウナコトニスル場合ガアルノデアリマス、ソレコソ私ハ此ノ増産計畫ト云フモノガ破滅スルノデハナイカト憂慮スル者デアリマス、ソレバカリデハアリマセヌ、種牝牛ノ共同購入ニ對シマシテモ、從來種畜設置ノ獎勵金ヲ僅カデアリマスケレドモ出シテ居リマス、併シ其ノ種畜獎勵金モ、實ハソレガ種

畜ヲ購入シタ所ノ購入業者ガ、畜産組合ト
ノ有機的ナ連絡ガ旨ク出來テ居ラナイ爲ニ
折角購入シタ種畜ニ對シマシテモ亂暴ヲ取
扱ラスル、又畜産組合モ唯政府カラ助成ヲ
シテ貰ツテ、種畜ヲ購入スレバ、検査サヘ
受ケテ置ケバソレデ宜イワト云フヤウナコ
トデ、後ハ顧ミナイノデアリマス、斯ウ云
フヤウニ無責任ナ畜産組合ノ團體ニ對象ト
シテ、此ノ増産計畫ヲ立テルト云フコトデ
アリマス、熱心ナル所ノ畜産組合、不熱心
ナル所ノ畜産組合ヲ畫一的ニ考ヘラレマシ
テ増産計畫ヲ立テ、之ヲ遂行セントスルナ
ラバ、ソコニ大キナ誤リヲ犯スコトニナリ
ハセヌカト私ハ憂慮スルノデアリマスガ、
當局ハ此ノ増産計畫ノ點ニ付キマシテ、助
成ノ方針ニ付テ、全國ニ於ケル畜産組合ヲ
畫一的ニ見テ此ノ方針ヲ遂行シヨウトスル
モノデアリマスカドウカ、御伺シテ置キタ
イト思フノデアリマス

○岸政府委員 助成ノヤリ方ニ付キマシテ
ハ、或ハ指導上色々手ノ届カナイ點モアリ、
御示ノヤウナ點モアツタカト思ヒマスガ、
ソレ等ニ付テハ無論注意シテ行カケレバ
ナリマセヌガ、助成ハ結局有效適切ニ働イ
テ、效果ノ擧ルヤウニナル積リデ居ルノデ
アリマス、此ノ乳牛ノ増殖ニ付キマシテモ、

例ヘバ御話ノ種牡牛ヲ貸付ケルニシテモ、
最も效果ノ擧ル所ニ貸シテ行クト云フヤウ
ナ方針ヲ執ツテ進シテ行キタイト思ツテ居
リマス、隨ヒマシテ、全國ヲ畫一的ニ見
テ、不良ナモノデモ何デモ貸シテヤルト云
フヤウナ考ハ毛頭持ツテ居ラナイノデアリ
マス、唯個々ノ農家ニ厚クナイト云フヤウ
ナ御話デアリマスルガ、助成ノ方針ハ畜産
組合ナリ、産業組合ナリヲ通ジテ、其ノ效
果ガ個々ノ生産者ニ及フヤウニ考ヘテ居ル
次第デアリマシテ、或ハ共同設備ノ如キモ
ノハ共同デ造ルガ、其ノ利益ハ個々ノ農家
ニ及ブ、斯ウ云フヤウニ考ヘテヤツテ居ル
次第デアリマス

○野澤委員 増産計畫ニ付キマシテハ局長
ノ答辯ガ私ノ質問ノ意圖ヲ少シ離レテ居リ
マス、第一點ハ局長ノ答辯デ満足スルノデ
アリマスガ、第二點ノ、生産者ニ直接助成
ヲシテナイト云フ私ノ意見ニ對シマシテ、
當局ハソレノ、産業組合アタリヲ通シテ相
當ニヤツテ居ルト言ハレテ居リマスガ、産
業組合ヲ通シテヤツテ居ルト云フコトハ
決シテ農林省ノ畜産局カラ積極的ニソレヲ
ヤツテ居ルトハ思ハナイ、ソレハ産業組合
ノ金融方面デ、偶ニ産業組合ニ對シテ畜牛ヲ
購入スル場合、資金ヲ融通シテヤルト云フ

コトヲ規定シタモノデアリマシテ、決シテ
畜産局ガ最初カラサウ云フ意見ヲ持ツテ居
ツテ、産業組合ニ呼掛ケタトハ思ハナイノ
デアリマス、最近ハ積極的ニヤラレテ居ル
ヤウデアリマスケレドモ、併シマダ現在ハ
畜産當局ノ考ヘテ居ルヤウナ、生産者ニ對
スル資金ノ融通ハ行ハレテ居リマセヌ、産
業組合ト別箇ノ機關デハヤツテ居リマスケ
レドモ、畜産組合或ハ飼育者ニ於キマシテ
助成或ハ資金ノ融通ヲ具體的ニ受ケテ居ル
ト云フ所ヲ私ハ聞カナイノデアリマス、ソ
レハ何カノ御考違ヒデハナイカト私ハ思ッ
テ居ルノデアリマスガ、若シサウ云フ事實
ガアリマシタナラバ御示ヲ願ツテ、是カラ
歸ツテ御示ノヤウニヤリタイト思ヒマスガ
ラ、御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今ノ私ノ話ガ少シ受取り
助成ヲスルニ當ツテ生産者ニハ其ノ效果ガ組
合ナラ組合ヲ通シテ及ンデ居ル、ソレニ付テハ
例ヘテ見レバ「サイロ」ノ建設ヲスルノニ共
同建設ヲスル、併シ其ノ「サイロ」ハ結局個々
ノ農家ガ利用スル、斯ウ云フコトヲ申シタ
ノデアリマス、今申上ガマシタノハ産業組合
パカリデアリマセヌ、畜産組合モ色々ノ團
體ガアルノデゴザイマスガ、併シ産業組合

ノ資金關係ニ付キマシテハ、先日モ御話申
シマシタヤウニ、中央金庫ニ於テモ畜牛購
入資金ノ貸出等ヲ行ツテ居リ、更ニ其ノ範
圍ヲモ擴ゲヨウト目下研究シテ居リマス
○野澤委員 産業組合ノ畜牛ノ共同購入ニ
對シマスルコトハ、只今申シタ通り私モ能
ク知ツテ居ルノデアリマス、ケレドモ農林
省ノ當局ト致シマシテ産業組合ヲ經ズシテ、
何カ畜産局ノ方デ系統上級機關デ資金ヲ簡
易ニ融通セシムルヤウナ方法ガナイカ
勿論ナイノデアリマスケレドモ、ソレヲ何
トカ善處シテ貰ヒタイト云フノガ私ノ考デ
アリマス、併シ今ソレヲ言ウデモ中々出來
ナイコトデアリマセウガ、努メテサウ云フ
ヤウナ御考デ善處ヲ願ヒタイト思ヒマス
ソレカラ今一ツ、是ハ希望デアリマスガ、
畜産團體ヲ通シテ資金或ハ助成金ナドヲ交
付シテ居ラレハ、其ノ場合私ハ特ニ考ヘテ
貰ハナケレバナラヌコトハ、頭ヲ段々刳ネ
テ行ツテ、所謂下級團體ヘ來ル時分ニハ段々
細クナツテ、愈々ソレガ生産飼育者ノ手ニ
渡ル時分ニハ、マルデ問題ニナラス程削ラ
レテシマフノデスケレドモ、斯ウ云フコト
ハ何トカ是正シナケレバナラヌ重大ナ問題
ダト思ヒマス、是非サウ云フ點ニ付テモ御
配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ、實ヲ申シマス、市場ナドヲ

ヤツテ居ル畜産組合ナドハ、非常ニ内容ガ充實シテ有力デアリマスケレドモ、生産地デナイ、或ハ市場ヲヤツテ居ナイ地方ノ畜産團體ハ實ニ振ハナイデアリマス、御承知ノ通り畜産組合ト云フモノハ生産飼育者ヲ網羅シタモノデアリマスガ、其ノ生産飼育者ガ經濟上破局ニナツテ來マシテ、生産者自身ノ生活ガ不安デアリマスカラ、ソコカラ金ヲ出スト云フコトハ、假令一錢デモ支出スルナドト云フコトハ中々賛成ヲシナイ、ソレガ爲ニ勢ヒ其ノ畜産團體ト云フモノモ結局少數ノ有力者ニ依ツテ左右サレルト云フヤウナ傾向ナキニシモアラズデアリマス、私ハ馬政計畫ト云ヒ、此ノ酪農事業計畫ト云ヒ、之ヲ遂行シテ行クニハ、指導機關デアリマス、畜産組合ノ強化再組織ト云フコトガ、最モ必要デヤナイカト云フヤウニ考ヘル者デアリマス、是ハ生産費ノ問題ト關聯ヲ致シマシテ、此ノ人的資源ノ指導機關デアリ、特ニ畜産技術指導ノ最モ重要ナ機關デアル此ノ團體ノ再組織ヲヤラナケレバ、色々計畫ヲ立テラレテモ思フヤウニ行カナイト思フデアリマス、政府ハ畜産組合ノ再組織ニ付テ如何ナル御所見ヲ御持チニナツテ居リマスカ、持ツテ居リマス

ナラバ承リタイト思ヒマス

併セテ申上ゲテ置キタイコトハ、是ハ他ノ團體ト違ヒマシテ、中々再組織ヲスルト云ツテモ容易デアリマセヌ、荒ツボイコトヲ致シマスナラバ畜産組合ハ片端カラ潰レマス、面倒ナコトデアリマスケレドモ、併シ此ノ畜産組合ニモツト法人格ヲ認メルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、所謂團體ニ對シ團體人格ヲ認メルヤウニシナケレバナラナイ、是ハ法律ガ出來テ居ルノデアルケレドモ、其ノ法律ガ實際ニ於テ效力ガ發生適用サレテ居ラナイ、法律ガアツテ無キガ如シ、此ノ點ニ對シテハ畜産當局ニ私ハ責任ガアルト思フ、今度ハ中々色々畜産ニ關係シタ事業ヲ遂行スルノデアリマスルカラ、當局ノ畜産組合ニ對スル今後ノ方針ニ付テ御意見ヲ特ニ此ノ際御聽シテ置カナケレバナラヌト思フ次第デアリマス

○岸府委員 畜産團體、特ニ畜産組合ノ振興、或ハ其ノ再組織ノ形態ヲ執リ、ソシテ其ノ内容ヲ改善シテ行クト云フヤウナ方法ヲ考ヘナクチャイカヌデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、畜産組合ヲドウ云フ風ニシテ行クカト云フ點ニ付キマシテハ、私モ就任以來色々研究サシテ居ルノデアリマス、マダ之ヲドウ云フ風ニ導イテ行クカト

云フ成案ヲ得ナイノデアリマス、ノミナラズ一方ニ於テ團體全體ニ對スル見方ヲドウスルカト云フ問題モアリマスノデ、御注意ノ點ハ銘記シテ十分ニ研究シテ行キタイト思ヒマス

○野澤委員 滿洲ニ於キマシテ大イニ畜産行政ニ成果ヲ擧ゲラレタ岸サンデアリマスカラ、一ツ之ヲ機會ニ此ノ指導機關デアリマスル畜産團體ニ對スル確固タル方針ヲ明示シ、之ヲ徹底スルヤウニシテ貫ヒタイト云フコトヲ要望シテ、其ノ點ハ打切りマス

次ニ私ハ乳製品ト臺灣米ノ移出管理法ニ付テ少シク質問シテ見タイト思ヒマス、突拍子モナイ質問ヲスルヤウニ思ハレマスガ、決シテサウデナイ、關聯ヲシテ居ル問題デアリマシテ、世間往々疑惑ヲ持ツテ居ル問題デアリマスガ故ニ、此ノ際私ハ當局ノ所見ヲ聽イテ置キタイノデアリマス、ソレハ外デモアリマセヌガ、今回臺灣米ノ移出管理法案ガ上程サレマシタ、近日是ハ可決サレルコトニナツテ居リマス、臺灣米移出管理法ニ付キマシテハ色々意見ガ出テ居リマス、其ノ意見ノ出テ居ル主ナル點ヲ集約致シマスルト、今回ノ臺灣米穀移出管理法ニ依リマシテ一番馬鹿ヲ見ルノハ農民デア

デアルト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、ドウシテ砂糖會社ガ儲ケルカト段々聞キマスルト、此ノ移出管理法ニ依リマシテ農民ハ段々ト其ノ生活ノ安定ヲ脅カサレテ來ル、俗ニ言フ合ハナイ、現在デモ臺灣ノ百姓ト云フモノハ、米ヲ作ル百姓ノ中甘諸ヲ食フ者ガ七割アリマス、今デサヘモ合ハナイノデアリマスルカラ、此ノ移出管理法案ガ可決サレルト、ヨリ一層米作農民ノ收入ガ減ツテ來ル、ソコデ其ノ收入ガ減ツテ來ルト今度ハ其ノ米作農民ハドウ云フヤウニナルカト云フト、砂糖原料作りノ農民ニ轉化スルノデアリマス、サウスルト今日マデ砂糖ノ生産ガ縮小サレテ居ツタ時代デアリマシテ、此ノ時局ニ鑑ミテ愈々糖業モ是カラ大イニ發展シヨウト云フ際デアリマスノデ、今日マデ米價統制其ノ他ニ依ツテ農民ノ多クガ米作農ニ向イテ居タノヲ、今度ハ逆ニ砂糖ノ原料生産ノ方ヘ向ケルノデアリマスカラ、糖業ノ發展増産ハ火ヲ附ルヨリモ明カデアリマス、サウナツテ來ルト、今度ハ砂糖會社ハ其處ヘ持ツテ來テ、此ノ酪農業調整法——酪農業調整法ト云ツテモ是ハ統制法デアリマス、今マデハ疎ラナ幾多ノ製酪會社ガ勝手氣儘ニ乳製品ノ原料ノ一ツデアル砂糖ヲ方々カラ買ツテ來タ、今度

ハ此ノ調整法が出来ルト、所謂製酪組合ノ

中心トナルベキモノハ何ト云ツテモ森永、

明治デアリマス、砂糖會社ノ方ハ、是ハ森

永、明治ガ直接ヤツテ居ル所トヤツテ居ラ

ヌ所ガアリマスガ、大體株ノ半數ハ姉妹團

體デアル明治製糖ガ持ツテ居ル、サウナツ

テ來ルト、途中イロ／＼心配ヲシナイデ、

明治、森永ノ利潤關係ガ一元的ニナツテ來

ル、ソレデアルカラ明治製糖アタリデハ、

盛ニ臺灣總督府ト連絡ヲ取ツテ、數年前カ

ラ此ノ計畫ヲヤツテ居ツタノデアル、此ノ

酪農業調整法ハサウ云フ關係ノ下ニ立案サ

レタノデヤナイカト云フ疑惑ヲ受ケテ居ル

ノデアリマス、眞力偽力知リマセヌケレド

モ、此ノ際ニサウ云フコトガアルカナイカ

ト云フコトヲ明ニシタ方ガ、將來ノ爲ニ宜

シト考ヘテ居ルノデアリマス

○林政府委員 只今野溝君カラノ臺灣米穀

移出管理法ト酪農法トノ關係ニ付キマシテ、

製糖會社ノ見地カラ御心配ガアツタノデア

リマスガ、此ノ酪農業者ニ對シマシテ八十

分國家の見地カラ監督致シマシテ、苟クモ

サウ云フ非難ノナイヤウニ致シタイト考ヘ

テ居リマス

○野溝委員 私ハ以上ヲ以チマシテ大綱ノ

質問ハ止メマシテ、アト少シ各論ヲ質問シ

テ見タイト思ヒマス

○田中委員長 野溝君ニ一寸御諮リシマス

ガ、今日デ成ベク此ノ一般ノ質問ハ終リ

タイト思ヒマス、マダ通告者ガアリマスノ

デ、ドウゾ其ノ御心持デ一ツ簡潔ニ御願致

シマス

○野溝委員 法案ノ第二條カラ第五條マデ

ノ點デアリマスガ、之ニ付キマシテハ先程

鹽川氏カラ詳細ノ質問ガアリマシタガ、私

ハソレニ關聯シテ質問ヲシテ見タイト思ヒ

マス、此ノ第二條カラ第五條マデハ大體ニ

於テ弊害是正ニ對スル法文デ、洵ニ結構デ

アリマス、併シ此ノ弊害是正ガ生産者ノミ

ヲ脅スヤウナコトガアツテハ相成ラヌト云

フ先程ノ鹽川君ノ御質問ハ、洵ニ御尤ナ御

質問デアルト深く感じテ居ツタノデアリマ

ス、政府ノ御答辯デハ、生産者ダケデハナ

ク、取引ノ關係者デアレバ全部此ノ法案ノ

適用ヲ受ケルコト云フコトデアリマスガ、生

産者ニ對シテノミ具體的ニ取引所ノ弊害ヲ

豫防シ匡正スルコトガ謳ハレテ居ルノデア

リマシテ、他ノ業者ニ對シテハ餘リ具體的

ニナツテ居ラナイ、併シ答辯ニ依ルト一視

同仁のナ取締ヲスルト云フコトヲ言ハレテ

居リ、私ハ其ノ言ヲ信賴シタイノデアリマ

スガ、唯茲ニ實例ヲ申上ゲテ政府ノ御所見

ヲ聽イテ置キタイト思フノデアリマス、御

承知ノ通り全國デ製乳或ハ乳酪事業ガ最モ

盛ナノハ北海道デ、續イテ靜岡縣デアリマ

ス、所ガ靜岡縣デハ最近業界ニ非常ナ波紋

ガアルノデアリマス、ソレハ私が申サズト

モ當局ハ能ク御承知ノコトト思ヒマス、其

ノ波紋ノ原因ガ何處ニアルカト云フト、此

ノ第二條カラ第五條マデノ法案ノ内容ト關

係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、靜岡縣ニ於キ

マシテハ御承知ノ通り縣ガ乳酪業者ト生産

者ニ對シテ斡旋ヲシテ此ノ調整ニ善處シテ

居リマスガ、旨ク行ツテ居ラナイノデアリ

マス、ドウシテ旨ク行カナイカト云フト、

彼ノ地ニ於ケル明治、森永等ノ橫暴ナル行

爲ガ靜岡縣ニ於ケル業界ヲシテ混亂ニ陥ラ

シメルコトニナツテ居ルノデアリマス、靜

岡縣ノ藤枝町、志太、庵原ノ生産者ノ造ッ

タ煉乳組合ハ明治ガ昭和十一年ニ買收シ、

又昭和十二年ニ於テハ藤枝町ノ藤枝煉乳ヲ

モ明治ガ買收シテシマツタ、サウシテ志太、

庵原ニ一ツノ「ブロック」ヲ明治ガ完全ニ作

ツタノデアリマス、靜岡、清水ニ市三十六

箇町村ニモヤハリ明治ガ一ツノ「ブロック」

形態ヲ作ツテ居マス、之ヲ世間デハ駿遠「ブ

ロック」ト申シテ居リマス、斯ウ云フ計畫ヲ

著々遂行シテ居ルノデアリマス、ドウシテ

コンナ計畫ヲシテ居ルカト云フト、勿論此

ノ「ブロック」ヲ作ルコトハ御自由デアリマス

ケレドモ、此ノ計畫ヲ立テルニハ、明治、

森永モ何カノ根據ガアツタコトト思フノデ

アリマス、其ノ計畫ガ特ニ生産者デアル農

民ニハ分ラズシテ、彼等ガ祕密ノ裡ニ之ヲ

ヤツテ來タ、ソレガ爲ニ農民ハ今日驚キマ

シテ、是ハ何レ農林省ノ酪農事業調整法ノ

案ガ漏レタノデハナイカト云フヤウナコト

ヲ言ツテ、非常ニ生産飼育者ガ騒イダ、恐

ラク農林當局ガソナ案ヲ漏ラスコトハア

ルマイト思ヒマスケレドモ、サウ云フヤウ

ナ氣持ヲ農民ニ持タセルコトハ、今後此ノ

事業ノ遂行ニ大キナ支障ニナルト思フノデ

アリマス、當局ニ於キマシテハ駿遠「ブロッ

ク」ト云フヤウナ計畫ヲ遂行スルコトガ豫

メ此ノ法案ノ上程前ニ分ツテ居ツタノデス

カ、ドウデスカ、ソレヲ聽イテ置キタイト

思ヒマス

○岸政府委員 靜岡縣下ニ於ケル牛乳ノ生

産狀況ニ付キマシテハ、今野溝サンガ御話

ニナツタヤウナ點ガ勿論アリマス、其ノ生

産者ト加工業者間ノ紛糾ヲ整理スルガ爲ニ、

靜岡縣デハ既ニ統制ノ方針ヲ立テマシテ

其ノ整理ヲ行ヒ、一方ニ於テ生産者ノ保護

ヲスルト共ニ、一方ニ於テ事業ノ安全性ヲ

確保スルヤウニシテ行クコトデ、進ンデ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、併シ今御話ノヤウナ駿遠「ブロック」ノヤウナモノヲ作ツテ明治、其ノ他ノ製乳業者ガ、何カ獨占的ニ横暴ナコトヲスルト云ツタヤウナ話ハ私共聞イテ居ラナイノデアリマス

○田中委員長 此ノ問題ニ關聯シテ坂下君カラ質疑ノ通告ガアリマスカラ、之ヲ許シマス

○坂下委員 關聯シタコトデ一寸御尋致シマス、生産費ノ問題ガ出マシタガ、生産費ハ頗ル重大ナ事柄デ、乳價ヲ匡正シマス上ニ最モ慎重ナル考慮ヲ要スルコトダト思ヒマス、最前ノ御話ニ依ルト、搾乳量ガ五升ト云フ御話ガアリマシタ、静岡縣ノ私共ノ方ニ於キマシテハ五升ナドト云フ所ハ餘リ聞イテ居リマセヌ、中ニハ五升ノモ、七升ノモアリマスケレドモ、大抵ハ一斗、二斗、多イノデハ五斗モ七斗モ中ニハ一石以上モアルコトヲ聞イテ居ルノデスガ、生産費ヲ算出致シマスニハ、大體搾乳量ハ何處ラガ普通カト云フコトヲ決メナケレバ生産費ハ出テ來ナイト思ヒマスガ、當局ノ見ル所ハ全國平均——全國デナクトモ、地方ノ平均デドノ位ニ當ツテ居ルカラ伺ツテ見タイノデアリマス

○岸政府委員 全國ヲ平均致シテ見マスト、地方別ニ色々差ガアリマスガ、大體四升ニナツテ居リマス

○坂下委員 私人方デハ餘リ四升ナドト云フコトハ聞イテ居リマセヌガ、平均四升デアルト致シマス、四升ト云フコトヲ大體基準ニシテ生産費ヲ計算スル御考デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 生産費ヲ決メルノニドノ位ノ程度ガ宜イカ、四升程度デ宜イカト云フ御話デアリマスガ、是ハ大體平均シタモノヲ四升ヲ基準ニシテ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フノデアリマス、勿論乳牛ノ能力ト云フモノハ現在ノ程度ニ於テ之ヲ止メテ行クト云フヨリモ、能力ノ進ムニ從ツテ一升當リノ生産費ト云フモノハ下ツテ參ルノデアリマスカラ、之ヲ出來ル限リ全國的ニ上ゲテ行クト云フコトニハ努メナケレバナラスト思ヒマス

○坂下委員 サウ致シマス、只今ノ所デハ當局ノ御考デハ生産費ノ計算ハ先ヅ四升ヲ基準ニシテ計算スルト云フ御考デアルト承知致シテ差支ナイヤウニ考ヘマスガ、ソレナバ私共畜産組合ニ關係シテ居リマス者トシテハ、大イニ今後ノ獎勵方針ヲ考ヘテ見ナケレバナラスト思ヒマス、私共ハ大

體四升ヤ五升デハ到底乳牛ヲ飼ツテモ算盤ガ持テナイヤウニ考ヘテ居ル、私共ノ關係シテ居ル酪農家ト致シマシテハ、先ヅドンナ惡イモノデモ一斗ハ取レル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、一斗ハ取レルカラ此ノ位ナ利潤ガアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、

隨テ私共ノ畜産組合トシテモ、一斗位ハ取レルモノト計算シテ獎勵方針ヲ立テテ居リマスガ、併シナガラ私共ノ管内ニ於キマシテ工合ノ好イモノハ二斗モ二斗五升モ取ツテ居ルノガ幾ラモゴザイマス、ソシナ譯

デゴザイマスカラ、當局ガ幸ニ四升ヤ五升ヲ標準ニシテ生産費ヲ計算シ、委員會ニ於テモソコ等ヲ標準ニシテ乳價ヲ決定シテ下サルコトデアリマスカラ、今後大イニ獎勵シテ行キタイト思ヒマスカラ、ドウカサウ云フ御方針デ委員會ニ於テ乳價ノ決定ヲ致シマス時ニハ四升カ五升ヲ標準ニシテ是非ヤツテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ希望シテ私ハ質問ヲ終リマス

○野澤委員 先程ノ質問ニ關聯シテデスガ、静岡縣ノ問題デアリマシテ、静岡縣デハ各業者ノ協調ヲ圖ツテ今日善處シテ居ルト云フ御答辯デアリマスガ、静岡縣ニ於キマシテハ、縣デハ努力シテ居ルカモ知レマセヌガ、旨ク行ツテ居リマセヌ、特ニ生産者團

體ガ先願權ガアルニ對シテ、其ノ先願權ヲ許サズシテ、却テ明治、森永等ノ乳酪組合ヲ承認シヨウトシテ掛ツテ居ルト云フヤウナ狀態モアルサウデアリマス、私ハソレヲ決シテ變ナ眼デ見タクハナイノデアリマスケレドモ、坂下、鹽川兩議員モ特ニ静岡縣

カラ出身サレテ居ル方々デアリマシテ、其ノ點ハ兩氏ニ於テモ篤ト分ツテ居ルコトト思フノデアリマスガ、兎ニ角其ノ縣ノ生産者デアアル農民ガ連名ヲ以テ反對シテ居ルト云フ此ノ事實ニ對シマシテハ、私ハ何ト云ツ

デモ縣當局自身ガ相當考慮シナケレバナラスト點デアルト思フノデアリマス、ソレハ縣ガ其ノ方針ガ是ナリト思ツテモ、生産者ニハソレガ受入レラレナイ結果デアルト思フノデアリマス、特ニ此ノ調整法案ガ生産者ノ地位ノ安定ヲ相當ニ考ヘテ立案サレタモノデアリマス、岸畜産局長ヲ初メ柴野改善課長等々ハ、特ニ其ノ點ヲ力説サレテ居ルノデアリマス、然ルニ農民カラ却テ反對ノ烽火ガ揚ルト云フコトニ對シマシテハ、實ニ面白カラザルコトデアルト思ヒマス、此ノ點ニ對シマシテ特ニ私ハ静岡縣當局ニ對シテ、サウ云フヤウナコトガナケレバ幸ヒデアリマスガ、若シアリトスレバ、ドウシテサウ云フコトガ起ツカト云フコトヲ、能ク此ノ際

御調査置キ願ヒタイト思フノデアリマス
ソレカラ特ニ靜岡ニ於キマシテ問題ニナ
ツテ居ルノハ割當量ノ問題デアリマスガ、此
ノ割當量ニ付テハ縣モ相當努力シテ居ルヤ
ウデアリマス、併シ此ノ割當ハ何ト云ツテモ
從前ノ關係ガアルノデスカラ、從前ノ關係ヲ
餘リニ無視シテ、唯大資本間ガ幾多ノ工場
ヲ買収シタカラ、今度其ノ方ニ大體乳量ヲ
ドモ多ク割當テナケレバナラヌト云フヤウ
ナ考ヘ方ヲスルコトニ依ツテ、靜岡縣ハ混
亂ニ陥ラシメテ居ルデアリマスカラ、サ
ウ云フ考ヘ方ハ私ハ修正シナケレバナラヌ
ト思フ、ヤハリ從前ヤツテ居ツタ歴史のナ
習慣ト云フモノヲ、成ベクツレヲ壞サヌヤ
ウニ、サウシテ此ノ酪農調整法ノ目的ヲ達
成セシムルヤウニスルノデナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ縣ハド
ウシタ御考デアアルカ知レマセヌケレドモ、
此ノ割當ニ對シマシテ駿遠方面ニ於キマシ
テハ明治ニ絶對的ナ乳量ヲ提供スルコトニ
シタノデアリマス、岳麓方面、富士郡方面
ニ於キマシテハ此ノ割當ヲ森永煉乳四〇%、
東洋煉乳二二%、日清煉乳一六%、日東煉
乳一一%、不二家煉乳一一%、斯ウ云フ率
ノ割當ヲ決メタノデアリマス、此ノ割當ハ
明治煉乳ガ駿遠ニ於テ制覇的ナ動キヲ占メ

テ居ルト同様ニ、岳麓富士方面ニ於キマシ
テモ、森永ガ明治ニ似タ所ノ制覇力ヲ振フ
ヤウニナルノデアリマス、工場ノ生産力關
係カラ見マシテ斯ウ云フ割當ノ案ヲ立テタ
ノダラウトハ思ヒマスガ、從前ノ煉乳會社
ノ農民トノ關係ハ、今日ヤ昨日ニ始ツタ關
係デハナイ、其ノ煉乳工場ガ飼育農民ニ對シ
マシテヤツテ來タ行跡ガ良カツタカラ、今
日マデ各種ノ煉乳工場トノ取引關係ガ出來
テ居ルノデアリマス、然ルニ今回縣ガ強制
的ニ此ノ割當ヲ決メテ、從來ノ飼育農家ト
ノ取引ヲ本葉微塵ニ粉碎シヨウト云フコトニ
對シマシテハ、斷ジテ之ニ賛成スルコトガ
出來ナイト言ツテ、靜岡ノ農民ハ喧々囂々
トシテ之ニ反對ヲ致シテ居リマス、當局ニ
於キマシテハ、過般ノ同僚ノ質問ニ對シマ
シテ、此ノ割當モ決シテ強制的ニ決メナイ
ト云フ御答辯ヲ、私ハ聽及ンデ居ツタノデ
アリマスカレドモ、果シテ當局ガ言ハレル
如ク、此ノ割當ヲ強制的ニ決メナイノカ、
或ハ強制的ニ此ノ割當ヲ決メテ行クノカ、
ハツキリ御所見ヲ御伺シテ置キタイト思ヒ
マス

○岸政府委員 靜岡ノ色々御話ニナツタ點
ニ付テハ、私モ十分ニ存ジテ居リマセヌガ、
サウ云フ風ナ割當ニ付キマシテモ、地方ノ
酪農協議會ニ掛ケテ、十分慎重ニ研究ヲナ
サルベキモノデアリマスノデ、生産者ノ立
場ヲ十分ニ考慮シテ、無理ノナイヤウニシ
ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス
○野澤委員 局長ノ御答辯ハ非常ニ妥當ナ
御答辯デアリマシテ、此ノ法案ニモ又命令
事項ニモ具體的ニソレガ示サレテ居リマセ
ヌガ、是非トモ只今ノ御答辯ノ通り、生産
者ノ氣持ト云フモノヲ抑ヘタリ、或ハ蹂躪
シタリスルヤウナコトノナイヤウニ、只今
ノ御答辯通り實行シテ貰ヒタイト思ヒマス、
最後ニ一言私ハ聽イテ置キタイノデアリマ
スガ、北海道ノ酪農事業ガ、此ノ法案ヲ立
案スルノニ最モ好イ參考ニナツタト思フノ
デアリマス、私モ過日北海道、樺太ニ參リマシ
タ時ニ痛切ニ感ジ、又期待ヲ持ツテ來タノハ、
此ノ酪農事業デアリマス、特ニ私ハ北海道、
樺太ノ如キ亞寒帶地方ニ於キマシテハ、主
食物デアリマス米作ト云フモノハ出來ナイ、
ドウシテモ家畜ヲ中心トシタ農業經營、
所謂有畜農業デナクシテ、主畜農業ヤツ
テ行カナケレバナラヌト云フコトヲ強ク感
ジタノデアリマス、特ニ樺太ノ如キニ於キ
マシテハ米ガ殆ド出來ナイ、米ガ出來ナケ
レバドウシテ食ツテ行クカト云フト、勿論
漁業モアレバ、其ノ他ノ殷賑産業ニ關係ス

ルコトモ出來ルノデアリマスカレドモ、農
業ト致シマシテハ、ドンナコトヲ致シマシ
テモ家畜ヲ飼ハナケレバ駄目デアル、所ガ
家畜ヲ飼ツタケデハ、市場ガ開拓サレテ
居リマセヌカラ問題ニナリマセヌ、ソコデ
樺太ノ農民ハ、露領時代カラ畜産ニ付テハ
歴史ガアリマズノデ、相當畜産業ガ發展シ
テ居ルノデアリマス、ケレドモ畜産加工品
ノ處理マデノ點ニ付テハ、具體的ニ今日確
立シテ居リマセヌ、爲ニ牛乳ノ生産——或
ル一定ノ生産工程段階マデハ農民ガヤリ、
ソレカラ後ノ旨イ汁ハ明治ガ吸ツテ居ルノ
デアリマス、今日樺太ノ農民ハ、ヤハリ此
ノ乳酪事業ニ對シマシテモ、一ツノ失望ヲ
感ジ來ツテ居リマス、是ハ甚ダ遺憾ナコト
ト思フノデアリマシテ、此ノ亞寒地帯ニ於
ケル農業經濟ト云フモノハ、丁抹ノ酪農循
環農法ヲヤラナケレバ駄目デアリマス、特
ニ畜産ヤツテ、牛ヲ飼ヘバ糞ヲ垂レルコ
トハ當リ前デアリマシテ、糞ヲ垂レバ勢
ヒ綠肥ガ出來ル、綠肥ガ出來レバ土地ガ肥
エル、特ニ又家畜カラハ子供モ出來ル、或
ハ毛モ取レル、皮モ使ヘル、乳ガ出ル、殆
ドソツハナイノデアリマス、是ハ全部加工
品トシテ、御互ノ日常ノ生活必需品ニ使ハ
ルルノデアリマス、デアリマスカラ、農業

經濟ヲ價値的ニ見テ極メテ有力デ、此ノ畜産業ヲ中心ニシタ農業經營ヲ立テナケレバナラヌト云フコトヲ感ジテ來マシタ、ソレガ圖ラズモ北海道ニ於テ實行サレテ居ツタノデアリマス、北海道方面ニ於キマシテハ、マダ完全トハ申兼ネマスガ、兎ニ角全國ニ範トスベキ經營方針ヲ立テラレテ居リマス、ソコデ此ノ有力ナル事業經營ニ對シマシテ、今回ノ酪農調整法ノ目的ハ、ヨリ一層有效ニ事業ヲ強化スルモノト私ハ見テ居ルノデアリマス、洵ニ其ノ點ハ結構デアリマス、併シ百尺竿頭一歩ヲ進メマシテ、立地的ナ農業經營ニマデ此ノ酪農調整法ヲ運用シテ貰フコトガ出來ルナラバ、非常ニ意義ノアル法案デアルト思ヒマス、特ニ是本法ニハ規定出來セヌデセウケレドモ、命令事項ノ中ニ、立地的ナ農業經營トノ關聯ニ於テ、何トカ是ガ規定出來ルナラバ、

亞寒地帯ニ於ケル所ノ農業ト云フモノハ確立スルコトガ出來ルト私ハ思ヒマス、特ニ亞寒地帯ノ農業ヲ確立スルコトハ、國防上必要ノコトデアリマシテ、所謂國防線ヲ確立シヨウトスルナラバ、何トシテモ武裝移民、所謂民衆ノ永住策ガ必要デアリマス、サウ云フ見地カラ致シマシテモ、此ノ立地的ナ農業經營ヲサセル爲ニハ、酪農調整法

ノ命令規定ニ於テ何トカナラナイモノカ、特ニ其ノ點ニ付キ政府モ考ヘラレテ居ルト思フガ、此ノ際御所見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○岸政府委員 亞寒地帯地方ノ農業ヲ有畜化シテ、サウシテ生産ノ過程ヲ循環的ニシテ行クト云フ點ニ付テハ、同様ナ考デ居リマス、唯命令ノ中ニ之ヲ書クト云フヤウナ方法ハドウカト思ヒマスルガ、ソレハ無論指導獎勵ニ依ツテ十分ニ效果ガ舉ルコトト思ヒマス、北海道等ニ於テオヤリニナツテ居ルコトモ、全ク其ノ方面ニ向ツテノ努力デアルト思ツテ居リマス

○野溝委員 私ハモツト細カイコトヲ質問シタイト思ヒマスケレドモ、政府當局ノ誠意アル答辯ヲ信ジマシテ、大體此ノ程度デ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○田中委員長 深澤君

○深澤委員 私ハ時間ガアリマセヌノデ、條項ヲ舉ゲテ簡單ニ御尋申上ゲタイト思ヒマス、私ハ各委員會ヲ掛ツテ居リマシテ同僚諸君ノ質問ヲ聽落シタ點ガ多クアリマスノデ、重複ニナル點ハ御答辯ヲ抜イテ簡單ニ仰シヤツテ戴ケバ結構デス、尙ホ審議上簡略ヲ旨ト致シマシテ、御答辯ハ「イエスカ」ノ「カ」、言葉ハ短クテ結構デス、

私ノ政府ニ御伺シタイ點ハ、日本ノ酪農ト申シマスドノ點マデヲ目標ニスルカ、現在ニ於キマシテハ府縣ニ於テハ神奈川、千葉、靜岡、石川縣、或ハ神戸、アノ附近ニ多數ノ牛ノ數ヲ見ルノデアリマスガ、北ヘ參リマスト北海道、樺太、北緯五十度ニ行キマシテ乳牛ノ分布ガ止ツテ居ルノデアリマス、日本ノ在來ノ農業ガ穀類農業デアツテ、穀類農業ニ於キマス所ノ現在ノ農村ノ經濟ト云フモノガ非常ニ他ノ産業ニ立遅レマシテ、之ヲ政府ノ統計年鑑で見マス、人數ハ非常ニ多クテ勤勞ニ努力致スケレドモ、所得ノ分配ト云フモノガ少イ、此ノ原因ハ何處ニ發スルカ、之ヲ一ツ御伺シテ見タイノデアリマス、例ヘバ人口ニ於キマシテ「パーセン」デ見マス、農業部面ニ對シテハ四〇・五、鑛業ニ對シテハ〇・八、又工業ニ對シマシテハ一九・二

商業ハ一五・一、交通ハ三・七、其ノ他トナツテ居リマスガ、此ノ人口ヲ以テ國民ノ個々ノ活動ノ結果ノ所得分配ハ非常ニ感心シナイ數字ガ出テ居ルノデアリマス、農業ニ對シテハ、四〇・五ノ人口デ、千ニ對スル一七七・〇所得、工業ニ於キマシテハ一九・二ノ人口デ千ニ對スル四九二ノ所得、商業ニ於キマシテハ千ニ對スル二五四ノ數字ヲ

一五・一ノモノデ分配シテ居ル、各國ニ於ケル所得分配數ト我國ニ於ケル所得分配數ヲ、職業ト人口ニ依ツテ見タ場合ニ於テ、非常ニ感心シナイノデアリマス、之ニ對シテ內務省ハ餘リニ他ニ對シテ遠慮ガ過ギル、隨テ所管事務ノ管下ニ於ケル所ノ所得分配ガ斯ウ現バレルノデハナカラウカト云フコトノ俗ノ言葉ヲ能ク聞キマスガ、私ハ左様ナコトハ信ジマセヌガ、此ノ分配ノ數字ハ是

ハ日本ノ農業ガ餘リニ過小農デアル、酪農地帯ト申シマシテモ、先程私ガ指摘致シマシタ千葉ニ致セ、又靜岡、或ハ神戸デアルトカ、或ハ又其ノ他ノ產地ノ酪農家一戸當リノ反別ヲ見マス、一町歩ヲ超シテ居ナイ、其ノ中ニ乳牛ヲ飼ツテ居ルト云フノデアルカラ、勢ヒ人ノ勞力、所謂汗ヲ流シテ背中ニ草ヲ背負フ、原始的ノ鎌ヲ以テ草ヲ刈ル、斯様ナ農家ノ勤勞ト勞力ハ非常ニ持ツテ居ルケレドモ、過小農ノ爲ニ其ノ活動力ヲ畑ノ上ニ、田ノ上ニ十分ニ發揮シナイト云フ點ガアル、此ノ儘デ推進ンダナラバ帝國ノ農業ノ前途ト云フモノハ非常ニ危マレネバナラス、是ニ於キマシテ先年農林省デ、サウスレバ農業上ニ於ケル適正な面積ハ幾ラカ、之ニ對シテ農家ガ農業ヲ主トシテ生活スル面積ト云フモノハ一町七反ヲ

要スル、斯様ナ數字ヲ發表ニナツタノデア
リマスガ、之ニ對シテ政府デハドウ云フ御
考デアアルカ一ツ御聽シテ見タイと思フノデ
アリマス、此ノ點ガ一點デアリマス其ノ次
ニハ先程カラヨク同僚ガ質問サレマシタガ
牛ヲ飼フ上ニ於テハ一箇年ノ出乳量ヲドノ
點ニ目標ヲ置イテヤルカ、或ハ十五石カ或
ハ十八石カ、一日ノ出乳量デハ多イ場合モ
アリ、段々乳期ガ終ルニ從ツテ量ガ減ルカ
ラ一日何升デハ分ラス、一乳期或ハ一箇年
ノ出乳量ト云フモノヲドノ點ニ目標ヲ置イ
テヤルカト云フコトヲ一ツ御聽シテ見タイ
ノデアリマス

ソレカラ酪農事業ノ一番困難トスル所ハ、
吾々ガ生産「コスト」ヲ安クシテ歐羅巴ノ先
進國ヲ凌駕スルニハ如何ナル方策ガ宜イカ、
是ガ政府モ吾々農業者モ共ニ研究シナケレバ
ナラス問題ト思ヒマス、御承知ノ通り「ネツ
スル」ハ世界ノ「コンデンス・ミルク」ヲ一手ニ
收メヨウトシテ、殆ド八割マデハ手ニ收メ
タト思ヒマス、我國ニ對シマシテハ淡路島
ニ手ヲ著ケタト思ツテ居リマスガ、之ニ對
スル當局ノ御所見モ一ツ伺ツテ置キタイト
思ヒマス更ニ私ノ究メテ見タイコトハ、日
本ノ農業ガ土地ノ利用ニ於テハ世界ニモ冠
タルモノダト思ヒマス、是レ以上ノ利用ト

云フコトハ容易デナイ、更ニ列強ノ農業者
ニ對スル土地ノ分配數ヲ見マス、大體
英、米、佛、伊等日本ト國力ニ於テ肩ヲ並
ベル列強ニ對スル日本ノ農家ノ土地分配
ト云フモノハ、一人當リガ大體四分ノ一
乃至三十二分ノ一、歐羅巴ノ一人當リノ
耕作面積ニ對シテ日本ノハ四分ノ一乃至
三十二分ノ一ト云フ比例ニナリマス、
其ノ差額ヲ見タ場合ニ吾々農業者ノ執ル
ベキ途ハ自ラハツキリスルト思ヒマスハ
ソレハ内ニ爭フノデハナクシテ、外列
強ノ農業ト對峙シタ時ニ、今ハ國運ヲ賭シ
テ露滿國境カラ支那方面ニ、誤マレル政權
ヲ正ス爲ニ全力ヲ盡シテ居リマスガ、ソレ
ハ狹イ意味ノ國防デアツテ、吾々ノ一斤ノ
「バター」ガ倫敦市場ニ現ハレル時ニハ、廣
義國防ノ經濟戰線ガソコニ展開シテ居ルノ
デアリマシテ、吾々農業者ハ狹イ意味ニ於
キマシテハ狹義國防ニ全力ヲ盡シ、廣イ意
味ニ於キマシテハ「カゼイン」ニ於テ、又此ノ
乳製品加工品ニ於テ世界市場ニ雄飛スル、
其處ニ戰線ヲ擴ゲテ居ルノデアリマス、一
歩後退ハ吾々ノ廣義國防ノ退步デアリマス、
之ヲ突破シ之ヲ克服スルト云フコトガ、吾々
ノ直面シタ任務ノ如ク思ハレルノデアリ
マス、茲ニ此ノ經濟體制ト申シマセウカ、

機構ト云フモノヲ現ニ政府ノ見ル如ク、之
ヲ營利會社ニ委スト云フコトガ妥當カ、ソ
レトモ之ヲ自治的ニヤラセルト云フコトガ
宜イカ、是ガ今考ヘナケレバナラナイ問題
カト思ヒマス、私ハ斯ウ云フ苦イ經驗ヲ持
ツテ居リマス、先年北海道ニ於キマシテ會
社ガ牛乳ヲ買フ、景氣ノ好イ時ニハ値段ヲ
ズン／＼上ゲマス、景氣ガ惡クナリマス
又下ゲル、是ハ經濟ノ理法ノ上デ營利會社
トシテ當然ノ措置デアリマスケレドモ、必
要ガナクナルト購乳ヲ拒絕スルノデアリマ
シテ、政府デモ苦イ經驗ヲ持ツテ居ルト思
ヒマス、牛乳ガ一升四錢ニナリ、更ニ今度
ハ購乳ヲ拒絕セラレタ、其ノ牛乳ヲ何處デ
消費スルカト云フト、何等ノ途ガナイ、或
ハ豚ノ飼料ニスルト云フヤウナ目ニ遭ハセ
ラレテ、現ハレタノガ北海道ノ統制アル酪
農聯合會デゴザイマス、斯様ニ廣義國防ノ
上ニ於テモ眞劍ニ戰フベキ仕事ヲ一營利會
社ノ手ニ任スト云フコトハ、非常ニ危險ノ
領域ガ多イト感ズルノデアリマス、之ニ對
スル政府ノ御所見ヲ一ツ伺ツテ見タイノデ
アリマス

更ニ吾々牛飼トシテ惱マサレルノハ飼料
ノ問題デアリマス、現在ノ日本ノ家畜數ヲ
舉ゲマスト、時間ガ掛リマスカラ拔キマス
ガ、農家五軒寄ツテ牛一匹、或ハ四軒寄ツ
テ馬一匹、斯様ナ家畜數デアリマシテ、多
ク農業上ノ勞力ハ自分ノ手足デ、原始的ナ
錄ト缺ニ依ツテ農業ヲ營ム、此ノ錄ト缺ヲ
見タ時ニ、「ジャワ」ノ農業ヲ見マシテ、最
モ文化ノ低イ農業者ノヤリ方ト相去ルコト
遠カラズ、之ヲ工業方面、商業方面ニ比較
シテ見マス、非常ニ格段ノ差ガアリマシ
テ、主務省ト致シマシテハ日夜此ノ點ニ對
シテ御苦心ノコトト思ツテ居リマス、此ノ
農具ノ改良ト云フコトニ付テ最近非常ニ御
努力ニナリマシテ、發動機ノ如キモノヲ入
レマシタガ、其ノ部面ダケノ仕事ノ能率ハ
上リマスケレドモ、播種、中耕、除草ニ至
リマシテハ依然トシテ原始農具ニ依ツテ致
シテ居ル、之ヲ人間ノ體ニ譬ヘマスト、口
ヤ胃腸ハ同ジデアケレドモ、肛門ダケ太
クシタト云フノト同ジコトデ、一有機體組
織ノ農業ヲ見タ場合ニ、茲ニ缺陷ガアルノ
デアリマス、ソレナラバ其ノ餘剩勞力ヲ經
濟化シ得ルカト言ヘバ、都市附近或ハ工業
地帯ニ於キマシテハ多少經濟化シ得マセウ
ガ、全面的ニ見タ時ニハ遺憾ノ點ガ多イノ
デアリマス、此ノ點カラ見マシテモ、酪農
業乃至農業ト云フモノヲ見タ時ニ、農具ノ
必然的改良ガ迫ツテ居ル、之ヲ改良シヨウ

トスレバ、餘剩勞力ノ捌ケロヲ如何ニスルカ、是ガ決ツテ居ナイ、サウスルト今ノ農業上ノ農具改良ヲ徹底的ニヤルニハ適正面積ニブツツカツテ來ル、適正面積マデハ骨ガ折レテモ之ヲヤラナケレバナラス、酪農業ト言ハズ穀菽農業ト言ハズ、列強ノ農業ニ對比致シマシテ、彼ハ現代科學ノ進歩ノ極點デアル所ノ農具ヲ使用スル「バリンドー」デ一日麥ヲ刈ツタナラバ三町歩ハ一人デ樂ニ刈レル、日本ノ農家ガ勤勞ヲシテ汗ヲ流シテヤツテモ一日一反ソコノ「デアル」、サウ致シマス、此ノ點カラ見マス、麥刈カラ言ヘバ彼ノ三十分ノ一デアル、三十分ノ一ノ仕事ヲシテ彼ト經濟上ノ「コスト」ヲ爭ツテ、之ニ對シテ優越ノ域ニ進ムト云フコトハ、獨リ穀物ト言ハズ乳製品ト言ハズ、牛乳ト言ハズ、非常ニ差ガアル、之ヲ如何ニ突破スルカト云フコトガ一ツノ懸案ダト思ヒマス、此ノ點カラ見マシテモ、耕地整理ト申シマセウカ、耕地面積ノ擴大ト云フコトガ必要ニ迫ツテ來タ、併シ今急激ニソレハ爲シ得ナイカラ、現在ノ土地ノ中ニ家畜ヲ入レルトスレバ、其ノ家畜ノ飼料ノ増産ニ要スル面積、又家畜ノ飼養ニ要スル面積ヲ取ラレルコトニ依ツテ、一方ニ食糧政策ノ上ニ多少ノ摩擦ヲ起シテ來ル、ソコデ

今度ハ更ニ考ヘ直シマシテ、農具ノ點デアリマスガ、農具ハ農家ニ於ケル一ツノ武器デアル、日本ノ軍隊ガ統制アル一元の規律ノ下ニ力戰奮闘敵ヲ粉碎スルニハ、最新ノ最モ優レタ武器ヲ持チ、最モ優レタ智能ト手腕ト熱情アル愛國精神ノ發露ニ依ツテ、如何ナル敵デモ粉破スル、ソレガ一ツノ真理デアルナラバ、日本ノ農家ハ今ノ原始的ナ鎌ト鋏ト僅カノ家畜——數軒ニ一頭ト云フ家畜ヲ以テ、彼ノ農業ト對比シテ居ルト云フノガ今ノ立場デアリマス、之ニ向ツテ生産擴充ノ名ニ於テ、又食糧確保ノ名ニ於テ進撃ノ號令ガ發セラレテ進ム場合ニ、其ノ足取ヲ見ルト遺憾ノ點ガ多イ、生産ノ點ニ於テモ遺憾ノ點ガ多イ、之ヲ物ニ譬ヘテ見マス、失禮デスガ、我レガ火繩銃カ弓矢ヲ持ツニ對シ、彼ハ機關銃ヲ持ツタト云フヤウナ比例ニナルデアリマス、如何ニ農林省御當局ノ懸命ノ努力ト知識ヲ搾ツテモ我ガ鋏、鎌ノ農業ガ彼ノ「トラクター」或ハ「バリンドー」ニ依ル所ノ農業ニ對シテ優秀ナ地歩ヲ占ムルト云フコトヲ確言シ得ルト云フ論據ニ對シテ、私ハ共ニ研究シテ見タイト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル御所見ヲ聽キタイノデアリマス、寒イ所ノ農業、東北六縣ノ振興政策、北海道ニ於ケ

ル、或ハ樺太ニ於ケル農業ノ地位、斯様ナモノヲ私斯ウ思ヒマス、家畜ヲ飼フ場合ニハ必ズ一ツノ土地ガ要ル、而モ非常ニ地價ガ高クテ、其處デ牛乳ヲ採ル場合ニ、又乳製品ヲ造ル場合ニハ、地價ノ高イダケ「コスト」ト云フモノガ上ツテ來ル、ソレヲ最モ經濟的ニ白人農業ト對比シテ其ノ線ニ向ツテ進ムニハ、彼ヨリモ進ム方法ト、進ム農具ト、進ム家畜ヲ持タナケレバナラナイ、氣溫ニ於テ、地力ニ於テ、歐羅巴ニハ負ケテ居ナイノデアリマス、樺太ト云ハズ、北海道ト云ハズ、東北六縣ト云ハズ、自然條件ニ於テハ勝ツテ居ルデアリマス、唯勝ツテ居ナイ點ハ、祖先以來穀菽農業ニ非常ニ堪能ナ技術ト、經驗ト知識ハ持ツテ居リマスケレドモ、家畜ニ對シテハ經驗ノ日ガ淺ク、乳製品ニ對シテモ最近ハ非常ニ長足ノ進歩ヲ致シマシタケレドモ、歴史的ニハ新シイノデアリマス、之ニ對スル指導ト云フコトニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテ深キ注意ヲ要スル點ガ多クアルデアリマス、例ヘバ北海道ニ於キマシテ先年營利會社ガ中心ノ場合ニハ牛ガ殖エタリ減ツタリ、景氣ノ好イ時ニハ殖エル、景氣ガ惡クナルト減ツテシマフ、ソレヲ自治組織ニ致シマシタ所ガ、廣義國防ノ經濟線ヲ死守セ

ネバナラナイカラ、安クナツテモ中々ソレヲ今マデノヤウニ直グ投資ツテシマフト云フヤウナ弊風ハ薄ライデ來タノデアリマス、ソレハ恰モ米ガ安クテモ水田ヲ廢メルト云フヤウナコトガナイト同ジトコデ、農家ソレ自體ノ農業組織ノ中ニ牛、馬、羊、豚ガ入ツテ居ルナラバ、農業組織ガ一貫シテソレニ依ツテ完全ナ農業ガ成立チマスカラ、茲ニ農業ノ強味ガ出テ來テ、ソレガ軀テ工業化セラレテ、白人ノ市場ト相爭ツテモ敗ケナイト云フ條件ガ加ハルト思フノデアリマス、之ニ對スル機械、器具ノ整備、家畜ノ増殖ハ土地ノ比較的豐ト申シマセウカ、サウ云フ土地ニ發展スルノハ必然ノ道理ト思フノデアリマス、搾乳量ニ於キマシテモ北海道デアルトカ、或ハ千葉、神奈川、靜岡、兵庫ト云フヤウナ地帯ニハ良キ指導者、良キ體驗者ガ居リマスカラ發展シマセウ、隨テ之ヲ中心ニ自治的ニヤラセルコトガ非常ニ大事ダト思ヒマス、唯同僚諸君ノ意見モ會社々々ト申シマスガ、會社ハ利益ガアレバヤリ、利益ノナイ場合ニハ事業ハヤライノデアリマス、斯様ナ不安定ノ上ニ立テルト云フコトモ危險ノヤウニ感ゼラレマス、將來ハ追ヒ「ト」自治的ニ畜牛者ニ加工サセルト云フコトニ出來ヌカ、是ハ日本ノ

技術が進ミ農民ノ能力モ今ハ會社其ノ他ニ比較致シマシテモ一步モ譲ラナイマデニ進ンデ居ルト思フ、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ今ニ應御伺シタイノデアリマス、次ニ乳牛ノ目標ハ何處ニ置イテアルカ、例ヘバ經濟的目標ハ何處ニ置イテアルカ、例ヘバ一年ニドレ位ノ牛乳ヲ搾レバ現在ノ市場價值ニ於テ農家ガ經濟苦ヲ訴ヘズニ行ケルカ、乳牛ノ配分ノ目標ハ何處ニ置イテアルカト云フコトヲ御伺シタイ

次ニ最近農家ノ買フ生産必需物資ハ高クナリ生産シタ物ハ中々上ラナイト云フヤウナ傾向ガアリマス、例ヘバ飼料ニ致シマシテモ、又肥料ニ致シマシテモ、又農具ニ致シマシテモ、又酪農上、農業上必要ナ木綿ニ致シマシテモ、非常ニ騰貴率ガ高イケレドモ、農家ノ生産物ハ依然トシテ騰貴率ハソレニ比例シナイ、極端ニ申シマス、高イ物ヲ買ツテ安イ物ヲ賣ルノデス、是デハ農家ハ經濟上非常ニ苦難ノ地位ニ立タザルヲ得ナイ、之ニ對シテ主務當局ト致シマシテ非常ニ關係ガ多イノデアリマスカラ、深イ注意ヲ拂ハレテ、若シ低物價政策ヲ執ルナラバ獨リ食料品等ノ農家ノ生産物ダケニ限ラズ、農家ノ生産必需物資等ニ對シマシテモ均霑スルヤウニ一段ノ御考慮ヲ願ヒタイ

ノデアリマス、之ニ對スル當局ノ御所見ヲ御伺シタイ、一々數字ト例ヲ舉ゲマス時聞ヲ取リマスノデ、概念的ニ述ベテ置キタイノデアリマスガ、酪農ノ海外ニ對スル進出ニ付テ御伺シマス、倫敦デハ御承知ノ通り一箇年ノ「バター」ノ消費ハ十億封度、日本ノ「バター」ハ議會ノ委員會ナドデ大仕掛ニ論ゼラレマスガ、一年ノ生産ハタツタハ百万封度デ、日本ノ「バター」ヲ百五十五六年貯メテ置イテモ此ノ倫敦ノ消費ニハ應ゼラレナイ、九牛ノ一毛トハ此ノ事ト思ヒマスガ、更ニ丁抹、或ハ和蘭、或ハ亞米利加、或ハ「ニュージランド」或ハ濠洲ナド、是等ト生産ノ「コスト」ヲ爭フ場合ニハオ五ガ如何ニ進ムベキカ、冗費ヲ省イテ能率ヲ舉ゲルニハ如何ニスベキカ、牛モ向フカラ種牛ヲ持ツテ來ルノデハナク、國內ニ於テ彼等ノ牛ニ負ケナイマデノ素質ノ牛ヲ造ラナケレバナラナイ、先程同僚カラ種牛ガ瘦セタトカ、ドウシタトカ云フコトヲ話サレマシタガ、此ノ技術ノ進シタ時代ニ種牛ガ瘦セルト云フヤウナコトハ、ドウモ吾々ノ考トシテハ非常ニ距離ガアリ、時代ガ違フヤウノ感モアリマス、種牛ヲ管理サセル場合ニ、左様ナ理解ノナイ點ニ付テ餘程適切ニ指導ヲモラレルコトヲ私ハ望ミマス、サウシナ

ケレバ、列強對峙ノ現代ニ於テ、吾々農業者ガ進ンデ行キ、一々個々ガ農家トシテノ力ヲ十分ニ發揮スル上ニ於テ遺憾ノ點ガ現ハレテ來ルノデアリマス、之ニ對スル當局ノ親切ナ指導ヲ望ムト共ニ、當局ガ指導員ヲ御採用ニナル場合ニハ、頭腦、技術、又實地指導ノ點ニ於テ、「チーズ」ハ斯ウ云フ工合ニ造ルノガ世界最上ノ造リ方ダ、「コンデン」ハ斯ウアルノダ、「カゼイン」ハ斯ウアルト云フコトノ本當ノ深い御考慮ヲ廻ラシテ御採用ニナルヤウニ御願シタイノデス、今日ノ日本トシテハ、穀類農業ト酪農ヲ結付ケテ世界ノ農業ヲ渾然一體ト爲シ、世界ニ冠タル農業國トスルコトガ必要デアリ、又今ソレヲ目指サントスルノガ吾々農業者ノ立場デアリマス爲ニ、精神的ニハ八紘一宇ト云フヤウナ言葉ヲ使ヒマセウガ、經濟的ニハ世界市場ニ最モ優越シタ最モ廉價ニシテ良キ品ヲ供給シ、而シテ吾々ノ農業ガゾレニ依ツテ經營上利益ヲ舉ゲ得ルト云フマデニ行カケレバ、吾々ノ農業ノ使命ヲ達シ得タモノトハ思ハレナイノデス、以上各點ニ對シテ政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、大臣ニ對スル質問モ一二アリマスガ、オ見エノ際ニ簡單ニ質問致シタイト思ヒマス

○岸政府委員 非常ニ廣汎ナ而シテ難シイ問題デアリマスカラ、農林省トシテノ意見ヲ申上ゲルニハ、少シ私ノ力ガ足リナイト思ヒマス、私ノ一己ノ所見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、色々農業經營ニ付テノ御話モアリマシタガ、成程日本ノ農業ハ、北海道ヲ除イテハ過小ノ經營デアリマシテ、實際其ノ經營ハ他ノモノカラ見レバ裕リノナイモノデアアルコトハ明カデアリマス、隨ヒマシテ其ノ過小ナル部分ニ付テハ或ハ多角經營ニ依ツテ其ノ收入ガ多クナルコトモアルノデアリマスガ、其ノ經營ヲ多角ニ直シテ行クコトニ付テハ、尙ホ各方面カラ検討サレナケレバナラヌト思フノデアリマス、私共ト致シマシテハ過小ノ經營デアリマシテモ、其ノ經營ノ内容ヲ豐富ニスルコトニ依ツテ收入ヲ引上ゲテ行クコトガ必要デアルト思ヒマス、之ニ付テハ多年私共ハ有畜農業經營ヲ主張シテ參リマシタ、サウシテ畜産ヲ其ノ經營ノ中ニ採込ンデ農家ノ經營ヲ多角的ニシテ、其ノ經營ニ彈力ノアルヤウニシテ參ツテ居ルノデアリマス、畜牛ニ付テノ面積ハドウカト云フ御話ガアリマシタ、色々ナ條件、因子ヲ入レテ検討サレナケレバナラナイノデアリマシテ、今御話ノヤウニ、世界市場トノ競争ニ於テ經營ニ彈力ガアルニ

ハドノ位ナ面積ガ要ルカト云フヤウ點ニナ
リマス、簡單ニ此處デ私が申上ゲルコト
ガ出來ナイヤウニ思フノデアリマス

次ニ東北六縣、北海道、樺太方面ノ農業
ノ關係ニ付テ御話ガアリマシタガ、是等ノ
經營ニ付テモ、御示ノアリマシタヤウニ有
畜經營デ行クト云フコトガ其ノ根本デナケ
レバナラスト考ヘテ居リマス、家畜ノ増殖
等モヤハリ其ノ點ニ結ビ付ケテ之ヲ殖ヤシ
テ行クト云フ點ニ付テハ御考ト同ジデアリ
マス、ソレカラ乳牛ノ増殖ノ目標ニ付キマ
シテハ、御手許ニ差上ゲマシタ資料ニ依ツ
テ、五箇年ニドノ位ニスルカト云フコトハ
御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス、尙ホ人口食
糧問題ノ盛デアリマシタ當時ニ於テ、研究
サレタ頭數等ニ付テハ、過般申述ベタト思
ツテ居リマス

ソレカラ酪農ノ經營又酪產物ノ外國進出
ヲ圖ルニハ「コスト」ヲ引下ゲテ行カナケレ
バナラスト云フ點ニ付キマシテハ、先程御
答ヲ申上ゲタト思ヒマスガ、是ハ一面ニ於
テ牛ノ能力ヲ向上サセテ行クトガ必要デ
アルト思ヒマシテ、之ニ付キマシテハ能力ノ
檢定登錄ト云ツタヤウナモノニ依リマシテ、
其ノ牛ノ出乳量ガ全面的ニ向上シテ行クヤ
ウニ努メナケレバナナイト思ヒマス

尙ホ損失ヲ防止スル爲ニ衛生上ノ指導ヲ

十分ニシ、此ノ指導ニ當ツテモソレガ親切
丁寧デナケレバナラスト云フコトハ御示シ
ノ通りデアリマス、尙ホ生産費ヲ引下ゲル
コトニ付キマシテハ、經營上ニ於テ、飼養
管理ノ上ニ於テ、從來ノ缺點ヲ是正スルト
云フヤウナコトモ考ヘテ行カナケレバナラ
ナイト考ヘテ居リマス、例ヘテ見マズレバ、
先程ドナタカニ御答シマシタヤウニ、濃厚
飼料ノ一部ヲ優良ナル粗飼料ニ置キ變ヘテ、
生産費ヲ下ゲテ行クヤウナ點ニ努メナケレ
バナラナイト思ツテ居リマス、尙ホ經營ニ
必要ナル資材ガ高クナルニ拘ラズ、生産物
ハ騰貴シナイ、斯ウ云フ點ニ付テハ十分ニ
注意シロト云フ御話デアリマスガ、此ノ點
農林省ニ於テモ十分考ヘテ努力致シタイト
思ツテ居リマス

ソレカラ企業ノ形態ニ付キマシテ色々御
話ガアリマシタ中、外國資本ニ對スル御考
ヲ御聽キニナツタト思ヒマス、今外國資本
ノ會社ガ二ツアリマスルガ、今日ニ於キマ
シテハ大日本製乳協會ノ一員トシテ、至極
圓滿ニ日本國策ノ爲ニ協力シテ仕事ヲヤツ
テ居リマス
ソレカラ經營ノ形態上自治的ニ行ク方ガ
宜イノデアツテ、會社ニスルノハ危險デアル

ト云フ御話ガアリマシタガ、北海道ニ於テ
ハ多年ノ經驗デ立派ニ行ツテ居リマスガ、
内地ニ於キマシテハ、色々ノ關係デ必ズシ
モサウ云フ形デ行ハレテハ居リマセヌガ、
是等ニ付テモ十分弊害ノ起リサウナ點ニ付
テハ、此ノ法ノ運用其ノ他ニ依ツテ共存共
榮ノ趣旨デ進ンデ行クト云フコトニ付テハ、
過般本會議ニ於テ大臣ガ申上ゲタ通りデア
リマス、輸出ニ付テモ色々ノ説ガアリマス
ガ、生産者團體ガ自ラ出スモノニ付テモ、
又會社ガ出スモノニ付テモ色々ノ利害得失ガ
アルコトト思ヒマス、之ニ付テモ、何レノ
場合ニ於テモ生産者ノ立場ヲ十分考慮シテ
善處シテ行キタイト考ヘテ居リマス、次ニ
先程坂下サンカラ御話ノアリマシタヤウナ
標準出乳量ニ付テ御尋ガアツタコトト思フ
ノデアリマスガ、其ノ場合ニハ私少シ言葉
ガ足ラナクテ甚ダ輕卒デアツタカト思フノ
デアリマスガ、四升ト申シマスノハ、全國
ノ算術ノ平均ヲ採ツタノデアリマシテ、實
際ニ出乳量ヲ決定スル場合ニ於キマシテハ、
更ニ研究ヲ遂ゲテ、サウシテヤツテ行カサ
ケレバナラスト思ヒマス、是ハ時季其ノ他
ニ依ツテ色々變化ガアラウト思ヒスマカラ、
其ノ點十分研究サシテ戴キタイト考ヘテ居
リマス、尙ホ出乳量ニ付キマシテハ先程申

上ゲマシタ檢定登錄其ノ他ノ改良ノ方法ニ
依リマシテ、年々増加サセル計畫デアリ、
又實際ニ於テモ増加シツアル現狀デアリ
マス、御意見ノ點非常ニ多岐ニ互ツテ居リ
マシテ、私ノ聽キ漏シタ點ガアルカモ知レ
マセヌガ、大要私ノ記憶ニ殘ツタ所ニ付テ
御答申上ゲマス

○深澤委員 イマニ點御尋致シマス、家ハ
私ノ心配シテ居ルノハ乳牛ノ屠殺デアリマ
ス、同僚諸君モ御聽キスルコトト思ヒマス
ガ、私ノ調デハ出乳年齡ガ約七八年ハ更ニ
使ヘルト云フヤウナ乳牛ノ日本ノ一箇年間
ノ屠殺量ハ一萬ヲ下ラナイト私ハ考ヘテ居
リマス、内務省ニ於テ、法ニ若シ不備アリ
トスレバ、之ヲ改正シテ禁止スルコトガ出
來ナイカドウカ、サウシテ蕃殖適齡ノ乳牛
ニ對シテハ屠殺ヲ止メ、止メマス乳牛
飼育ノ經濟上カラ困難ニブツカリマスノデ、
此ノ點ニ於ケル金融ノ途ヲ考ヘナケレバナ
ラナイガ、之ニ對スル當局ノ御考ハ如何デ
アリマセウカ
○岸政府委員 乳牛ノ屠殺禁止ニ付キマシ
テハ先日來數回ノ機會デ申上ゲテアルノデ
アリマスガ、能力ノアルモノガ殺サレルノ
ハ如何ニモ殘念デアリマスノデ、取敢ヘズ
通牒ヲ以チマシテ利用シ得ル乳牛ハ成ベク

屠殺シナイデ、之ヲ利用スルヤウニト云フ
コトヲ各地方ニ通知ヲ致シテアリマスルガ、
此ノ屠殺禁止ニ付キマシテハ、私共ノ方ニ
於キマシテモ色々研究ヲシテ居リマス、極
メテ少數ノ調査デアリマスルガ、過般申上
ガマシタヤウニ、實際ヲ調べナイト果シテ
全ク健在ナ牛デアルカドウカト云フコトハ
中々困難デアリマス、若シソレガ非常ニ少
數ナ場合ニ、法令の禁止スルト云フヤウ
ナコトニ付キマシテハ、色々困難ガアルト
思ヒマスガ、其ノ點ハ十分指導ニ依ツテ目
的ヲ達スルヤウニ努力シテ見タイト思ヒマ
ス、隨テ先程御話ノ金融ノ點ニ付キマシテ
モ併セテ十分研究シタイト考ヘテ居リマス
○深澤委員 是ハ同僚ガ質問シマシタと思
ヒマスガ、大都市ニ於ケル牛乳業者、アレ
ヲ一度ニ急激ニハ出來マスマイガ、東京附
近、千葉縣トカ、或ハ茨城縣、或ハ神奈川
縣トカニ、東京市其ノ他ノ大都市ノ搾乳業者
ヲ移轉セシメルコトガ、近代ノ衛生上ニ非
常ニ適スルト思ヒマス、是ハ既ニ質問且ツ
御答辯済ミノモノデアリマスレバ速記録ヲ
見マス

○岸政府委員 答辯ガ済ンデ居リマス

○小笠原委員 私ハ時間モ過ギマシタノデ
極メテ簡單ニ本案ニ對スル二三ノ點ヲ農林

省當局ニ質シテ見タイト思ヒマス、牛乳並
ニ乳製品ノ需要ハ益々多カラントスルニ付
キマシテ、搾乳事業ニ對シテ政府ハ相當ノ
獎勵ヲナサルト云フコトデアリマスルガ、
此ノ獎勵方針ハ、從來是等ノ事業ガ能ク進
歩發達シテ居ル方面ニ益々擴大強化ヲナサ
ル御考デアリマスカ、又是等ノ事業ニ對シ
テ、第一步カラデモ、將來性アル方面ヤ、或
ハ又農村經濟ノ事情ニ依ツテ搾乳事業進展
ニ好條件ノ方面ニ對シテ、新ニ是ガ獎勵ノ
方針ヲ立テラレルト云フ意味デアリマセウ
カ、ソレヲ先ヅ聽キマス

○岸政府委員 勿論舊來ノ優良搾乳地ニ付
テ獎勵シマス同時ニ、只今御示シノ方面
ニ付テモ十分考慮シテ行キタイト思ヒマス

○小笠原委員 是等ノ新シイ將來性ノアル
方面ニ開拓スルト云フコトニナリマスル
云フト、其ノ指導方針ハ、具體的ニ申シマ
スナラバ種牡牛ノ配給ト云フコトハ承ツテ
居リマスガ、ヤハリ乳牝牛ノ方ノ配置等モ
オヤリニナルデアリマスカ、又其ノ他ド
ウ云フ方面ニ新開拓ヲ御獎勵ナサル方針デ
アリマスカ

○岸政府委員 新シイ地方ニ對シマシテ種
牡牛ノ設置、是ハ無論ヤル積リデゴザイマ
スルガ、極メテ少額ナガラ種畜ノ設置ニ於

テ牝牛ノ共同購入ヲモ認メテヤリマスシ、
其ノ他勿論他ノ一般畜産ニ對スル各種ノ助
成施設ト云フモノハ、ソレ等ノ地方ニ付テ
モ實施スルコトガ考ヘラレル譯デアリマス
○小笠原委員 是マデ農林省デハ各畜産組
合等ニ對スル指導員ニ對スル俸給ノ半額ノ
助成ヲシテ居ツタノデアリマシテ、各組合
ニ於テハ其ノ指導非常ニ宜シキヲ得テ居ツ
タノデアリマスガ、聯合會トカ或ハ府縣ト
カ云フモノニ對シテハ、此ノ助成ガナイ爲
ニ、指導機關ハナイ譯デアリマス、隨テ各
府縣ノ中央ノ纏ツタ指導機關ト云フモノハ
缺ケテ居ル所ガ澤山アルデアリマス、隨
テ是ガ爲ニ非常ニ酪農其ノ他ノ畜牛ニ對ス
ル方面ノ缺陷ガ見ラレルノデアリマスガ、
將來是ハ改メテ御考ハアリマセスカ

○岸政府委員 牛ノ方面ノ指導員ニ付キマ
シテハ從來正直ナ話施設ヲシテ居ラナカツ
タノデアリマス、幸ヒ畜牛ノ増殖、即チ生
産力擴充及ビ此ノ酪農ノ統制等ニ依リマシ
テ、相當ノ地方職員ヲ設置スルヤウナ途ガ
開ケマシタノデ、是等ノ指導員ヲ置イテ、
サウシテ從來ノ缺陷ヲ補フヤウニシテ行キ
タイト考ヘテ居リマス、尙ホ御示シノ畜産
組合聯合會其ノ他ニ於ケル所ノ職員ノ助成
等ニ付テモ十分研究シテ見タイト思ツテ居

リマス

○小笠原委員 之ニ付テ私ハ御承知置デア
ラウト思ヒマスガ、一例ヲ申上ゲレバ、我
ガ青森縣ノ如キハ從來搾乳牛ノ「ホルスタ
イン」ヲ獎勵シテ參ツタ、一面ニハ短角牛
ヲ獎勵シテ參ツタノデアリマス、ソレガ相
當ナ進歩發達ヲシテ參ツタノデアリマス
レドモ、ソレニ對シテ此ノ酪農事業ニ何等
ノ指導ノ方面ヲヤラス、然ルニ近年ニ至ツ
テ突如トシテ黒和種最モ本縣ニハ適當ダト
シテ、縣ノ方デハ黒和種ヲ獎勵シ始メタ、ソ
レガ爲ニ非常ニ農村ノ經濟ガ打撃ヲ蒙ツタ
コトハ勿論デアリマスガ、其ノ他此ノ畜牛
界ノ方デハ非常ニ迷ヒヲ生ジテ居ルヤウナ
例ガアルノデアリマス、隨テ斯ウ云フ風ニ、
此ノ乳牛ノ相當ナ進歩シテ居ル所ニ對シテ
ハ、是カラデモ私ハ遲クナイト思フノデア
リマスガ、斯ウ云フ方面ニハ又酪農ノ事業
ノ方ノ進展ノ獎勵ヲ改メテオヤリニナツタ
方ガ、國家的ニモ非常ニ利益ダト考ヘマス、
其ノ方面ヲ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ一
寸伺ヒタイ

○岸政府委員 大體牛ノ如キモノハ經濟上
ノ關係カラ之ヲヤツテ行カナケレバナラヌ
コトデアリマスノデ、私共馬以外ノ畜産ノ
獎勵ニ當リマシテハ、地方的ノ事情ト云フ

コトヲ十分ニ根據ニシテ、サウシテヤツテヤ行キタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ是等ノ畜牛ヲ如何ニシテ殖ヤシテ行クカ、又斯ウ云フヤウナ酪農地帶ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシテ行クカト云フヤウナコトニ付テハ、一先ヅ縣ニ於キマシテ民間ノ方ノ畜産組合聯合會、或ハ縣ノ方等ニ於テ十分ノ方針ヲ決メテ戴キマシテ、ソレニ順應シテ私共進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ生産力擴充ガ色々ナ方面ニ行ハレマシタノデ、出來ルナルラバ昭和十四年度以降ニ於ケル計畫ニ付キマシテハ、大體其ノ地方ノ意見ヲ斟酌シテ、地方的ニ牛馬ノ、馬モサウデアリマスガ、牛其ノ他ノ家畜ノ割當ヲ考ヘル、サウシテ計畫ヲ立テル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ計畫ノ中ニ於テ、縣當局ニ於テ適當ナ酪農地ガアルナラバ、之ヲ守立ツテ行ク、斯ウ云フ風ニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

デアリマス、隨テ少クトモ自給自足ノ分量ハ、搾乳事業ニ於テ努メルノハ私ハ當然ダト思フノデアリマス、之ヲ自給自足ヲスルト致シマシテ、相當分量ヲ多ク採ルト云フコトニナリマスルト云フト、ヤハリ搾乳事業ニ對シマシテ相當豫備行為ノ擴張ヲシテ置カナケレバナラヌ、隨テ小規模ナガラモ農村工業のナ工場ノ設置ヲスルヤウナコトニナルノデアリマスガ、之ニ對シテハ農林當局ノ方デサウ云フ方針ヲ指導スル御考ガアルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイ

○岸政府委員 大體酪農地ノ發展ヲ見マス、先ヅ最初ノ間ハ小サイ「バター」ノ加工事業ナドヲ中心ニシテヤツテ居ル、御承知ダラウト思ヒマスガ、青森縣ナドニ於テモ「バター」ノ製造ヲ中心ニシテ少シヅツヤツテ居ル所ガアリマス、斯ウ云フ所ヲ順々ニ盛り立テテ行ツテ、其處ニ一ツノ酪農地ガ出來テ來テ居ル現状デアリマスガ、將來十分伸ビル關係モアルト云フノデアリマスレバ、サウ云フ地方ニ指導ヲ集中シテヤツテ見ルコトモ宜イト考ヘテ居リマス

○小笠原委員 大都市ヲ背景トシテ居ル大工場ハ「バター」其ノ他ノ乳製品ハ非常ニ經濟的ニ出來ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ方面ノ製品ト小規模ノ農村工業のナ製

品ト比較致シマシテ、相當遠隔ナ地ニアツテ運賃ヲ出シテモ尙ホ大都市ヲ背景トスル大工場ノ製品ノ方ガ安價ニ出來ルト云フヤウナ關係ニ付テノ御調ガアルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○岸政府委員 生産費ノ問題ニ付テハ色々ノ點カラ澤山議論ガアリマシテ、私共餘リ完全ナ御話ヲ申上ゲ得ナイコトヲ恐縮シテ居リマス、今御話ニナリマシタ小規模ノ「バター」製造ト、大都市附近ノ大規模ノ「バター」製造ノ生産費ニ付テモ的確ニ御示スルダケノ材料モナイ譯デアリマスガ、大都市附近ニ於キマシテモ餘乳ヲ利用シタリ或ハ等外乳ヲ利用シタリシテ生産シテ居リマスモノハ安ク出來ル、ソレカラ田舎ニ於ケル小規模ノ經營ニ於テモ安ク出來ル所モアルノデアリマスガ、其ノ點具體的ナモノヲ持合セテ居リマセヌ

○小笠原委員 他ノ委員カラモ御尋ガアツタ如ク、東北地方ハ北海道ト同様、酪農事業其ノ他畜牛關係ニ關シテハ、最モ好條件ノ地域ヲ占メテ居ルノデアリマス、殊ニ東北地方ハ御承知ノ通り冷害其ノ他ノ災害ヲ年々繰返シテ疲弊困憊シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ方デハ色々ナ角度カラ指導助成ヲシテ居ルノデアリマスケレド

モ、ヤハリ一長一短デアリマシテ、未ダ眞ニ東北農村民ノ適當ナ救済デアルトハ見ラレナイノデアリマス、東北地方デハ昨今大工場ノ設置ヲ非常ニ要望シテ居ルノデアリマス、軍需工業等モ總テ關東、關西方面ニ配分セラレマシテ、東北ハ軍需工業ノ恩恵ニ殆ド浴シテ居ナイト言ツテモ宜イ位デアルノデアリマス、此ノ場合ニ一石二鳥ノ意味ニ於キマシテモ搾乳事業ヲ東北地方ニ盛ナラシメテ、之ニ明治製菓トカ、其ノ他ノ乳製品工場ヲ設置スルナラバ、國策上カラ見マシテモ、東北振興ノ上カラ見マシテモ、最モ好結果ヲ齎スト考ヘテ居ルノデアリマスガ、農林省ノ方デハ好條件ヲ持つテ居ル東北地方ニ對シテ、酪農事業ニ對シ一段ノ特別ナ助成方針ヲ御考ニナツテ居ラスノデアリマスガ、又將來此ノ方面ニ對シテ一段ト力ヲ入レルト云フ計畫デモアリマスガ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○岸政府委員 特別ナ助成ヲスルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、十分考慮ヲナシ研究致シタイト思ヒマス

○小笠原委員 馬ノ關係ヲ私ハ伺ヒタイ、御承知ノ通り馬産ノ農家ハ一年ト經濟的打撃ヲ受ケテ牛ニ轉向スル向キガ非常ニ多クナツテ參ツタノデアリマス、之ニ對スル

指導方針ト致シマシテ畜産局ト馬政局トノ關係ハ如何ナル協調ヲ遂ゲラレテ居ルノデアリマス、即チ農家ハ經濟的ニ幾分デモ緩和サレル結果牛ニ轉向サレルノデアリマスガ、今日ノ場合ハ牛馬ノ何レモ國策上重要デアリマス、是等ノ問題ハ自由選擇ニ委セテサウシテ出來ル儘ニシテ指導サレル御考デアリマス、又馬ノ生産ニ付テハ相當ニ訓練ヲ要スルモノデアリマス、之ヲ直チニ牛ニ轉向サレテハ馬產國策上非常ニ困難ヲ來シマス、馬產地ニ對シテ牛ニ轉向スル者ニ對シテハ、指導獎勵ヲ差控ヘルコトニナルノデアリマス、其ノ方針ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 馬ノ生産ト云フモノガ從來ニ於テ減少ノ傾向モアリマス、馬ノ頭數ヲ維持スルト云フコトハ兎ニ角國防上重大ナル問題デア、其ノ方面ノ仕事ニ付テハ馬政局ト十分連絡ヲ取リマシテ、馬産ニ支障ノナイヤウニ致シテ居リマス、隨ヒマシテ他ノ畜産ヲ獎勵スルニ致シマシテモ、ソレガ馬産農家ノ馬ノ生産ニ對シテ有利ニナルヤウニハ考ヘテヤツテ居リマスケレドモ、ソレガ支障ニナルヤウナコトニ付テハ成ベクナイヤウニ努メテ居リマス

○小笠原委員 私は最後ニ牛馬ノ關係デ、

何レモ發達スルヤウニ連絡ヲ取ツテ居ルト云フコトニナリマス、是等ノ何レニモ飼料ノ關係ハ最モ重大ナル關係ヲ有シテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ飼料ノ栽培トカ、或ハ牧野ト云フコトニ對シテ一段ト御努力ヲ爲サレテ居ルコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、牛馬ノ混同放牧ト云フコトデアリマス、是非非常ニ牧野ヲ衰退セシメ、殆ド牛ヲ放牧スル所ハ草が生ヘナイト云フコトハ御承知デアラウト思フノデアリマス、又一面ニハ牛馬ノ混同放牧ニ對シテハ御承知ノ通り牛ニハ蛇、蠅ガ非常ニ附著スルノデアリマス、牛ノ方ハ鈍感デア、カ、蛇、蠅ニハビクトモシナイガ、馬ノ方ハ皮膚ノ關係デ非常ニ弱ツテシマフノデアリマス、隨テ是ガ爲ニ混同放牧ノ方面ニ於テ、牛ニ轉向スル方ガ此ノ意味カラ言ツテモ非常ニ經濟的デア、ト云フノ段々牛ノ方ニ變ヘテ行ク向ガアルノデアリマス、此ノ放牧關係モ斯ウ云フ非常ニ重要ナル關係ノアルコトヲアタタ方ノ方デ御調ニナツテ、此ノ放牧關係ヲ考慮サレテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キマス

○岸政府委員 牛馬ノ放牧ニ付キマシテハ、馬ニ付テハ其ノ筋骨ヲ訓練スル上ニ於テモ大切デアリマス、主トシテ馬ニ付テ行ハレテ居リマス、牛ニ付テモ放牧ト云フコトガ問題ニナルノデアリマス、是等ノ問題ニ付テハ過般馬ノ委員會ニ於テ長官カラモ御話ニナリマシタヤウニ、牧野ニ關スル委員會ニ於テ其ノ研究ヲアルコトニナツテ居リマス、私共モソレニ參畫シテ研究ヲスルコトニナツテ居リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○池田委員 一寸今マデ聞漏シタ點ヲ二點バカリ伺ヒタイト思ヒマス、第一點ハ機構ノ問題デ、價格其ノ他ニ付テ協議會ト云フモノガ出來ルト云フコトデ、是ハ諮問機關ダト云フコトデ、此ノ諮問ハ組合ニ對シテ諮問ニ應ズルト云フコトニナルト思ヒマス、其ノ諮問ニ基イテ決定スルノハ組合ダト思フノデ、サウ心得テ宜シウゴザイマス

○岸政府委員 諮問機關ハ地方長官ノ諮問機關デゴザマス、地方長官ガ其ノ認可——牛ノ割當等ノコトヲ諮問シテ其ノ意見ヲ參酌シテ決定スル譯デアリマス

○池田委員 三條、四條デ組合ガ決定スルヤウニアルノデアリマス、地方長官ハ直接決定ヲスルニアラズシテ、協議會ノ議長カ何カニ地方長官ガナツテ、其ノ決定シタ事項ヲ組合ニ傳達シテソレヲ守ラセルト云フノデハナイノデスカ

○柴野說明員 三條、四條ノ關係ハ一ツノ組合ノ内部的ナル關係デアリマス、或ハ四條ハ私法上ノ契約ニナリマス、是ハ地方長官ノ關係事項デハアリマセヌガ、唯地方長官ガ三條ニ依ツテ或ル種ノ統制ヲ命ズル、必要ヲ認メル場合ニ於テ或ハ四條ノ取引ノ許可ノ際ニ於キマシテ、其ノ地方長官ノ意思決定ノ前提ト致シマシテ、諮問機關ノ答申ヲ參酌シテ、地方長官ガ意思決定ヲアルト云フ意味デアリマス、乳價ノ賣買其ノ他取引ノ決定其ノモノハ當事者ノ決定ニナルト思ヒマス

○池田委員 サウスルト價格ノ決定ハ地方長官若クハ中央官廳ノ長官ガ、最後のニ決定スルト、斯ウ伺ツテ宜シウゴザイマス

○柴野說明員 當事者ノ方デ意見ノ相違ヲ來シマシタヤウナ場合ハ、地方長官ガ中ニ入リマシテ決メルト云フコトニ、今御話ノヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○池田委員 サウスルト、價格ハ當事者ノ自治的協議ニ依ツテ決メ、決マヌ場合ニハ地方長官ガ之ヲ決定スル、斯ウ伺ツテ宜シイノデスカ

○柴野說明員 地方長官ガ中ニ居リマシテ、

裁定シテ左様致シタイと思ツテ居リマス

○池田委員 私ハドウシテモ是ハ價格ノ決定ガ最後ニ爭ニナルと思フノデアリマス、爭ニナル場合ニ地方々々ニ於テハ地方長官ガ決定スルトスレバ、是ハ如何ニ生産業者ト販賣業者トノ間ニ第三者ガ入ツテ「キャスティング・ボート」ヲ取ツテモドツチカ不服ノ場合ニハ之ヲ裁定スル途方執ツテ欲シイト思フ、少クトモ省令カ何カデ其ノ途ヲ開イテ、地方長官ノ不當ナル決定ニ對シテハ業者ノ雙方ガ異議ノ申立ヲスルコトガ出來ルト云フヤウナ途方開カレテ、初メテ未然ニ此ノ爭ヲ防グコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ方法ヲ御開キニナル御考ハナイカ、其ノ點伺ツテ置キタイと思ヒマス

○林政府委員 只今ノ問題ハ省令ニ依ツテ決メルコトモ出來ルサウデアリマスケレドモ、成ベクサウ云フコトノナイヤウナ工合ニ考慮致シタイト、色々法制局ナドトモ協議致シ、先例ニ依ツテ善處致シタイ、斯ウ云フ積リデアリマス

○池田委員 是ハ大臣ガ才出デニナル前ニ豫メ御相談ナスツテサウ云フ途方開ケルモノナラ開イテ戴キタイと思ヒマス、森林法ノ規定等ニ於テモ、地方長官ノ命令ノ決定

ニ對シテ不服ガアル場合ニハ異議ノ申立ヲスルコトガ出來ルヤウニ、是ハ法律デナクテモ省令カ何カデサウ云フ途方開カレルコトヲ希望シテ居リマスカラ、此ノ點御諮リ願ツテ、サウ云フ要望ヲ容レテ戴キタイト云フコトヲ御願シテ置キマス、イマ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、新シク牧野法等ガ出來テ、粗飼料ノ供給ニ付テハ百万圓カラノ補助規定ガ出來テ居ルノデアリマスガ、之ニ反シテ牧野等ヲ持タナイ濃厚飼料ノミヲ以テスル所ノ一二頭、四五頭、十頭以内ノ程度デ、狭イ非常ニ地價ノ高い耕地デ副業的ニ經營シテ居ル農家ハ、此ノ粗飼料ヲ安價ニ得ラレルモノト比較シテ價格ガ統制サレルト到底太刀打ガ出來ナイノデアリマス、而モ一方ニハサウ云フ牧野補助ト云フヤウナモノニ百万圓カラノ金ヲ使ツテ居ラレルノデスガ、サウスルト非常ナ不公平ガ其處ニ起キル、此ノ不公平ヲ矯正シテ何トカ牧野ヲ持タザル小サナ牧畜副業者ニ對シテ補助ノ途ヲ開イテ戴キタイノデアリマス、ソレハ或ハ資金ノ融通デモ宜シイ、或ハ種牡牛ノ購買料ノ補助デモ宜シイト思フノデアリマスガ、大臣才出デニナル場合ニサウ云フ途方開カレルヤウ御配慮ヲ願ヒタイ

○岸政府委員 先日申上ガマシヤウニ組

飼料ノ確保ニ付キマシテハ御手許ニ差上ゲマシタ資料ノ中ニアル飼料支給獎勵規則ノ中ニ於テ「サイロ」ノ建設其ノ他ニ付テ助成ヲスル途ヲ開イテ居リマスガ、ソレダケデハ勿論足りマセヌノデ、ヤハリ多少放牧、運動ヲ含ンダヤウナ施設ガ要ルト思ヒマス、是等ニ付テハ勿論吾々ノ方デモ研究シテ見タイト思ヒマス

○田中委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、次會ハ十日ノ午後一時カラ開會致シマス

午後五時三十分散會

昭和十四年三月八日印刷

昭和十四年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局